

石川県立歴史博物館

年 報

第 25 号
令和4年度

発行にあたって

令和4年度においては、令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、日本博物館協会の定めるガイドラインや石川県の方針にのっとり、入館者の人数制限や検温・消毒といった各種対策を講じました。展覧会については、令和3年度夏に開幕わずか9日で余儀なく中止した「大加州刀展」の再開を望む声を受けて春季特別展として再度開催し、夏季・秋季の特別展、冬季企画展の計4本を開催したほか、冬季には貸館も受け入れました。

特別展を総覧すると、春季特別展「大加州刀展」では、古刀期から新々刀期までの加賀の地で打たれた刀剣を一堂に展示し、その歴史と魅力に迫りました。再開にあたっては、展示品をさらに充実させ、前回鑑賞者も満足できるように努めました。夏季特別展「工芸教育の精華－納富介次郎とデザインの思想－」では、工芸王国石川を育んだ近代の工芸教育の実態について、明治20年に創立された「金沢工業学校」（現石川県立工業高等学校）の教員たちの活動を中心に紹介しました。秋季特別展「アトウイ－海と奏でるアイヌ文化」では、小樽市総合博物館、公益財団法人アイヌ民族文化財団との共同開催で、豊富な民具資料を主軸にアイヌ民族と海との密接なかわりを紹介し、さらに北海道と北陸の交流を示す資料も展示しました。開催に際してご理解をいただいたご所蔵者をはじめ、関係各位にこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

教育普及活動は、インターンシップ等の受け入れを再開したほか、展示解説も夏季特別展より展示室で行い、コロナ禍前の体制に戻しました。一方で、「歴史体験ひろば」は令和3年度に引き続き閉室、これに伴いボランティアの活動も中止いたしました。公式Twitterによる博物館情報の発信も継続し、感染拡大を憂慮するユーザーの需要も満たせるよう尽力しました。

ここに、令和4年度の年報を発行するにあたり、これまでご協力を賜りました関係各位に感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

目 次

基本構想・利用案内	… 2	III. 組織と運営	
I. 令和4年度の事業		1. 職員組織	… 52
1. 展示活動	… 3	2. 職員名簿	… 52
2. 調査研究活動	… 34	3. 予算及び決算	… 52
3. 資料収集保存活動	… 35	4. 事務分掌	… 53
4. 教育普及活動	… 39	5. 入場料について	… 54
5. 入館者状況	… 46	IV. 関連条例・規則	
II. 施設概要		1. 石川県立歴史博物館条例	… 55
1. 設備概要	… 47	2. 石川県立歴史博物館条例施行規則	… 56
2. 各棟室面積一覧	… 49	3. 石川県立歴史博物館管理規則	… 57
3. 館内平面図	… 50	V. 日記（抄）	… 61
		VI. 各種書式	… 63

基本構想

石川の歴史と文化を正しく、楽しく学習する拠点施設としての機能を充実するとともに、より多くの県民の方々や観光客に訪れて頂けるよう、国指定重要文化財としての建物の魅力や本多の森公園の立地環境を生かしながら、周辺施設と連携協力し、親しみやすく利用しやすい博物館とする。

(1) 誰もが楽しく学べる博物館

訪れるたびに新鮮な驚きと発見／感動があり、楽しく学べるとともに、探求心を育む博物館を目指す。

(2) ゆったりとくつろげ、交流を育む博物館

フリーゾーンを新設し、誰もが気軽に立ち寄り、本多の森公園の緑や国指定文化財の赤レンガ建物が持つ落ち着いた雰囲気の中でゆったりくつろぎ、様々な交流が生まれる博物館を目指す。

(3) 人に優しい博物館

様々な人々が快適に利用できる博物館、石川の歴史や文化に関する資料を大切に保管し、未来へと伝える博物館を目指す。

利用案内

開館時間 9:00～17:00 (展示室への入室は 16:30 まで)

休館日 年末年始(12月28日～1月3日)、資料の展示替え・整理の期間

観覧料 [常設展] 個人 一般 300 円 大学生 240 円 高校生以下無料

65 歳以上は団体料金

団体(20人以上) 一般 240 円 大学生 190 円

*加賀本多博物館との共通券(常設展のみ) 一般 500 円 大学生 400 円

[特別展] 展覧会毎に料金設定

交通案内 徒歩／兼六園から約 3 分

バス／北陸鉄道バス出羽町下車徒歩約 5 分

広坂・21 世紀美術館下車徒歩約 8 分

タクシー／JR 金沢駅から約 10～15 分

自動車／北陸自動車道

金沢西 IC・森本 IC から約 10～30 分

駐車場 45 台 (無料)

所在地 石川県金沢市出羽町 3-1



I. 令和4年度の事業

1. 展示活動

(1) 常設展示

「石川県の歴史と文化」をテーマとした総合展示。実物資料のほかジオラマや模型、モニターや大型スクリーンによる映像、パネルなどを駆使し、分かりやすく紹介している。ポイントとなる模型や展示資料は4ヶ国語の音声ガイドによって解説を加え、学習効果を高めている。

第1展示室

[導入映像] (展示室入口)

現代から過去へ、映像がフラッシュバックしながら、各時代を代表する出来事を交えて石川の歴史を紹介。



導入映像

I 豊かな自然となりわい

狩猟採集から米作りへ

豊かな大地に育まれた太古の暮らしを探る

1 森と海に生きる縄文人

- 縄文人の祈りと造形
- 謎の巨大木柱
- 気候変動と狩りの変化
- よみがえる縄文犬
- 海のなりわい
- 森のなりわい
- 漆工芸のはじまり

2 米作りと農耕社会の成立

- 水田稲作の伝来
- 弥生集落の風景
- 倭国大乱の時代
- 玉作りと鉄器の流通



「よみがえる縄文犬」
復元品

II 日本海を行き交う人びと

東アジアに広がる交流、日本海が醸し出す文化 加賀・能登の国の始まりを見つめる

1 日本海交流と東アジア

- 古墳の出現
- 加賀・能登の古墳と豪族
- 須曾蝦夷穴古墳と渡来文化
- 東アジアとの交流
- 渤海使と古代の湊
- 海を渡ってきたモノたち



蝦夷穴古墳模型

2 能登国・加賀国の誕生

- 律令制と地域史社会
- 加賀郡榜示札と農民の暮らし



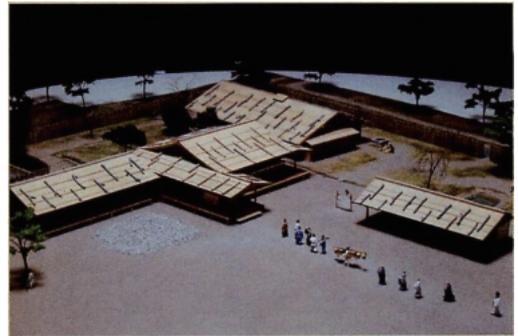
古代の御触書「加賀郡榜示札」

III 武士と一揆

武家政権の成立から加賀の一向一揆へ
くり返される戦乱の時代を生きた人びとの姿に迫る

1 武士の世へ

- 源平争乱と白山宮
- 堅田館跡
- 荘園と海のネットワーク
- 荘園のひろがり
- 珠洲焼



「堅田館—鎌倉時代の
加賀有力武士の館」模型

2 信仰の世界

- 加賀・能登の神と仏
- 新仏教の受容と展開
- 時宗
- 白山信仰
- 禅宗
- 石動山
- 日蓮宗

3 一揆の時代

- 能登島山氏と七尾
- 戦国末期の能登情勢
- 加賀の一向一揆百年
- 大坂本願寺合戦と北陸
- 能登島山氏
- 百姓ノ持タル国
- 長享の一揆
- 一向一揆の終局
- 七尾城下の繁栄
- 真宗のおこり
- 金沢御堂と寺内町
- 古文書にふれてみよう

IV 加賀藩の政治と文化

戦国の世から前田家の治世へ
安定した社会の中で育まれた文化、生活の諸相をひもとく

- 天下人の時代

1 加賀藩の成立

- 加賀前田家と江戸幕府
- 藩士の身分
- 改作法と村御印
- 学問と教育
- 金沢城



「大名行列が行く」大型パネル

2 加賀藩政の展開

- 城下町金沢
- 金沢町人の暮らしと文化
- 北前船と加賀・能登

3 幕末の加賀藩

- 藩財政の立て直し
- 村々の生活
- 飢饉と災害
- 海防と銃卒
- 幕末の混乱と加賀藩



城下町金沢の暮らしと町並み模型

第2展示室

V 近代国家と石川県

石川県の誕生、そして激動の時代へ
近代化の道のりと人びとの生活の変化をたどる

[近現代導入映像] (展示室入口)

1 武士の近代

- 石川県の誕生
- 「百万石」の武士から士族へ
- 紀尾井町事件
- 屯田兵と前田村

2 「美術工業」の時代

- 銅器会社と田中孫平
- 輸出工業
- 吉之助と米次郎
- 博覧会と博物館

3 日清・日露戦争と県民

- 日清戦争と兵士
- 日露戦争と県民
- ロシア軍捕虜の生活
- 北陸線と金沢駅
- 背囊を持ってみよう

4 特別名勝「兼六園」

5 デモクラシーとモダン

- 静かな米騒動
- 普通選挙と青年党
- モダニズムと大衆文化

6 戦争の時代と民衆

- 空襲をまぬがれた戦争
- 戦地と兵士
- 七七禁令と代用品
- 戦争と人びとの祈り
- 満蒙開拓の光と影

7 復興と成長の日々

- 占領・引揚・復興
- 内灘闘争
- 高度成長から安定成長の時代へ
- 戦後の住宅政策と石川県



紀尾井町事件映像



特別名勝「兼六園」模型

VI 加賀・能登の祭り

神と人がひとつになる厳粛な世界
心浮き立つ勇壮華麗な世界
祭り文化の多様性を見つめる

1 神と人の饗宴

○県内の特色ある祭り料理[神饌]をテーマに展示している。



神饌

◇一宮の神饌

■例大祭・夕御饌祭 ■平国祭

◇豊作への祈り

■ふきのと祭り ■もっそう祭り ■十七夜祭り ■いどり祭り
■おけら祭り

◇生贄伝説の世界

■如月祭 ■叩き堂祭り ■青柏祭 ■小串祭り
■春祭り ■大幡郷社祭り ■鯖踊り神事 ■弓引き祭り
■猿鬼の遺品

2 祭礼風流の世界

○曳山や鉾・屋台・造り物・練り物など華やかな出し物をテーマに祭礼遺産を更新しながら展示している。

◇いしかわの祭礼風流

■高松の長行灯 ■青柏祭
■金沢の曳山 ■近江町の大行灯
■お旅祭り ■華やかな祭礼練り物
■キリコ祭り ■加賀・能登の地芝居
■片町の絵行灯飾り ■先触れ面

◇城下の祭礼と興行

■ハレの飾り ■ハレのガイドブック
■幻の大祭 ■金沢の祭礼能
■祭礼と興行 ■踊り唄の出版
■百万石祭りの源流 ■金沢の獅子舞
■軍隊・学校・会社の祝祭

◇祭礼体感シアター



祭礼体感シアター

(2) その他の施設

第1棟 歴史発見館

1階 休憩室・姉妹館交流コーナー

当館と韓国国立全州博物館の姉妹館交流について紹介している。

2階 特別展示室

自主企画展示のほか、話題性のある魅力的な大型展示を開催する。

企画展示室

歴史博物館が所蔵する優品やコレクション、さらには常設展を補うテーマ性の高い内容を定期的に更新しながら展示する。

第2棟 交流体験館

1階 いしかわウェルカムラウンジ

総合案内・発券

ミュージアムショップ

歴史博物館のオリジナルグッズなどを販売する。



いしかわウェルカムラウンジ

建物 100 年ギャラリー

歴史博物館の建物である旧陸軍兵器庫兵器支廠について、建築当時やその後の保存修復などの写真を中心に、その歴史と重要文化財としての価値、魅力を紹介している。また、大きな窓ガラスからは、第3棟のレンガ壁や辰巳用水モニュメントを見渡すことができる。

兼六園周辺文化の森模型

兼六園周辺に多数ある文化施設の情報や見どころを紹介し、周辺への回遊を促す。また、兼六園周辺の空撮写真や古地図から、地域の変遷を学習することができる。



兼六園周辺文化の森模型

石川歴史・観光マップ（タッチモニター）

もっと知りたい石川クイズ、石川県の観光情報、石川県の文化財の3つのコンテンツを楽しむことができる。

なりきりショット

スクリーンに写しだされた絵画や古写真に画像に自身の顔を合成して、カメラで撮影して来館の記念にできる。

石川大パノラマ

大正～昭和前期にかけて全国各地の鳥瞰図を描いた吉田初三郎(1884～1955)が、石川県から依頼されて1933(昭和8)年に描いた「石川県鳥瞰図」を紹介。地図の中から21か所のポイントを選び、詳しい説明を加える。

1階 れきはくロビー

ミュージアムシアター

「城下町金沢を歩く」と題した映像番組を放映。加賀藩と城下町金沢の成立、城下町金沢の構造と特色、そして館蔵品の「金沢城下図屏風」をテーマとする。また、期間限定で特別展などに合わせた映像などを放映する。

ギャラリー

一般県民の展示活動に利用できる貸スペース。



ミュージアムシアター

2階 歴史体験ひろば・多目的ホール

実物資料や模型資料に直接触れ、また使ってみることによって、歴史の面白さを味わうことのできる体験コーナー。幼児から大人まで、幅広い年齢層が楽しむことができる。

また、多目的ホールとして、講演会やセミナー、ミニコンサートなどの行事を開催している。



歴史体験ひろば

〔主な体験メニュー〕

- ・昔の衣装体験－十二単の貴婦人、甲冑武士、武家のお姫様など
- ・昔の遊び体験－貝合わせ、盤双六、羽つきなど
- ・昔の乗り物で記念撮影－人力車、駕籠
- ・歴史資料に触れる体験－石器、土器、小判、十手など
- ・山の民家－囲炉裏、石臼、蓑笠、燭台など
- ・昔の学校－椅子、机、黒板、教科書、参考書など
- ・未就学児向け歴史体験(ひよこのひろば)－はにわボウリング、歴史まも当てなど

情報コーナー

歴史博物館の所蔵資料に関する情報（実物資料・文献資料・画像など）を提供。また、閲覧室や学習相談室としても活用することができる。

ワークショップルーム

実技講座をはじめ研究会・講習会・展示説明会など、幅広い年齢層の人びとが参加できる行事を開催している。

ほっとサロン

庭園の景色や建物の外観を眺めながら、ゆったりとくつろげる休憩コーナー。



ほっとサロン

*令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため「歴史体験ひろば」・「情報コーナー」は閉室した。

(3) 特別展

春季特別展 「大加州刀展」

加州刀とは、加賀国で鍛えられた刀のことを指します。そのはじまりは南北朝時代にさかのぼり、室町時代には藤嶋系や橋爪系、陀羅尼系の刀工が加賀に定着しました。

また、江戸時代に入ると美濃から「兼若」の一族が来住したことに加え、前田家による保護もあり、加賀での作刀は全盛期を迎えました。

本展は、当初は令和3年度夏季特別展として開催しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大にともない9日間で中止となりました。その後、再開催を願う多くの声に応え、出品資料をさらに充実させたうえで開催したものです。



チラシ

- 会 期** 令和4年4月28日（木）～令和4年6月26日（日）
 ※5月25日（水）・26日（木）は展示替えのため休室
 前期：4月28日（木）～5月24日（水） 後期：5月27日（金）～6月26日（日）
- 時 間** 9：00～17：00（チケットの販売は16：30まで）
- 観 覧 料** 一般 1,000円（800円）、大学生 800円（640円）、高校生以下無料
 ※（ ）内は20名以上の団体料金、65歳以上は団体料金
- 会 場** 特別展示室 企画展示室
- 展示構成** 第1章 加州刀の黎明 真景・友重 / 第2章 清光の命脈 / 第3章 加賀青江・家次 / 第4章 加州最大派閥 陀羅尼 / 第5章 加州刀の新風 兼若 / 第6章 加州刀の終焉 / 第7章 拵

- 催 物** **展示解説**（要特別展チケット・申込不要）
 日 時：①5月14日（土）13:30～14:30
 ②6月11日（土）13:30～14:30
 講 師：①小浦 宗五郎氏（公益財団法人
 日本美術刀剣保存協会会員）
 ②北 春千代氏（石川県七尾美術
 館館長）
 会 場：当館ワークショッブルーム
 参加者：①：40名 ②：39名

- 『刀剣乱舞-ONLINE-』宣伝隊長
 「おっきい こんのすけ」1日館長就任式
 日 時：6月12日（日）9:10～

- 『刀剣乱舞-ONLINE-』宣伝隊長
 「おっきい こんのすけ」撮影会
 日 時：①6月12日（日）9:20～
 ②6月12日（日）11:00～
 ③6月12日（日）14:00～

正伝 長尾流躰術演武

- 日 時：①5月15日（日）11:00～11:30
 ②5月15日（日）13:30～14:00
 講 師：金沢工業大学 正伝 長尾流躰術部
 会 場：ワークショッブルーム
 参加者：①：20名 ②：20名



会場入口



展示風景



展示風景



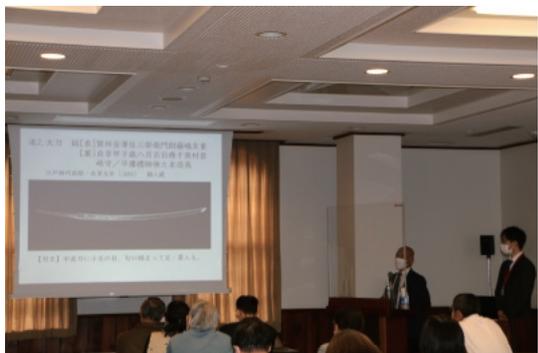
展示風景



展示風景



展示風景



展示解説①



正伝 長尾流躰術演武

大加州刀展 出品目録

2022 4/28[㊦] ▶ 6/26[㊨]
 前期 4/28[㊦]～5/24[㊩] 後期 5/27[㊪]～6/26[㊨]

【凡例】

／は改行、（ ）は注記。石川県文＝石川県指定文化財を指す。
 資料番号は石川県立歴史博物館令和3年度夏季特別展「大加州刀展」図録に準拠する。
 ただし、令和4年度春季特別展「大加州刀展」開催にあたって新たに追加した資料には、「追」を冠した番号を付した。
 展示期間は、通期展示…通、前期展示…前、後期展示…後と表記。
 都合により、展示作品および展示期間が変更されることがある。

第1章 加州刀の黎明 真景・友重

番号	展示	指定等	名称・銘	時代	所蔵者	備考
1	通	重要刀剣	短刀 銘[表]藤原真景 [裏]貞治六年二月日	南北朝時代・貞治6年(1367)	リードケミカル株式会社	
2	通	重要刀剣	刀 無銘 加州真景	南北朝時代(14世紀中頃)	リードケミカル株式会社	
3	通	重要刀剣	脇指 銘[表]藤嶋	室町時代初期(15世紀)	個人	
追1	前		短刀 銘[表]藤嶋作	室町時代初期(15世紀前半)	個人	
4	通	重要刀剣	短刀 銘[表]藤嶋友重	室町時代初期(15世紀)	リードケミカル株式会社	
5	通	重要刀剣	刀 銘[表]藤嶋友重	室町時代初期(15世紀)	リードケミカル株式会社	稲葉家伝来
5-附			金梨子地菱に三字紋時給翰糸巻太刀拵	江戸時代		
追2	通		太刀 銘[表]賀州金澤住三郎右衛門尉藤嶋友重 [裏]貞享甲子歳八月吉旦應于奥村壹岐守/ 平庸禮師俟子之求造焉	江戸時代前期・貞享元年(1684)	個人	7代友重 奥村支家伝来
7	後		刀 銘[表]信長	室町時代中期(15世紀中頃)	本館	赤羽刀2287

第2章 清光の命脈

番号	展示	指定等	名称・銘	時代	所蔵者	備考
8	通		太刀 銘[表]清光	室町時代中期(15世紀後半)	能美市	
9	前		刀 銘[表]清光	室町時代中期(15世紀後半)	本館	赤羽刀811
10	後		刀 銘[表]清光	室町時代後期(16世紀中頃)	本館	赤羽刀813
11	通		刀 銘[表]清光	室町時代後期(16世紀中頃)	個人	
12	前		短刀 銘[表]清光	室町時代後期(16世紀中頃)	本館	赤羽刀4458
13	後		脇指 銘[表]清光	桃山時代(16世紀末～17世紀初)	本館	
14	通		刀 銘[表]清光	桃山時代(16世紀末～17世紀初)	本館	
15	前		短刀 銘[表]清光	桃山時代(16世紀末～17世紀初)	本館	赤羽刀839
16	後		短刀 銘[表]清光	桃山時代(16世紀末～17世紀初)	本館	赤羽刀840
17	前		刀 銘[表]清光	江戸時代前期(17世紀中頃)	本館	赤羽刀805
18	通		刀 銘[表]清光	江戸時代前期(17世紀中頃)	浄照寺	6代清光
18-附			黒堅子篠塗鞘打刀拵	江戸時代		
19	通		刀 銘[表]金澤住藤原清光作	江戸時代前期(17世紀中頃)	株式会社 ニトロプラス	6代清光
20	通		脇指 銘[表]加州金澤住藤原清光作	江戸時代前期(17世紀中頃)	本館	6代清光 赤羽刀820
21	通		薙刀 銘[表]金澤住藤原清光作	江戸時代前期(17世紀中頃)	若宮八幡宮	6代清光
22	後		脇指 銘[表]賀州住清光	江戸時代前期(17世紀中頃)	本館	7代清光 赤羽刀827

第3章 加賀青江・家次

番号	展示	指定等	名称・銘	時代	所蔵者	備考
23	通		刀 銘[表]加州藤原住家次作 [裏]大永貳年八月吉日	室町時代後期・大永2年(1522)	本館	赤羽刀41
24	前		刀 銘[表]加州藤原住家次作	室町時代後期(16世紀前半)	本館	赤羽刀28
25	後		刀 銘[表]加州藤原家次作	室町時代末期(16世紀後半)	本館	赤羽刀29
26	前		刀 銘[表]家次	室町時代中期(15世紀)	本館	赤羽刀32
27	後		刀 銘[表]家次作	室町時代後期(16世紀前半)	本館	赤羽刀35
28	通		脇指 銘[表]家次 [裏](金象嵌)鳥屋入/政重(花押)	室町時代末期(16世紀後半)	個人	本多政重所用
29	前		脇指 銘[表]加州住家次	江戸時代前期(17世紀前半)	本館	赤羽刀43
30	後		刀 銘[表]家吉作	室町時代後期(16世紀中頃)	本館	赤羽刀58

第4章 加州最大派閥 陀羅尼

番号	展示	指定等	名称・銘	時代	所蔵者	備考
31	通		刀 銘[表]勝家	室町時代後期(16世紀前半)	本館	赤羽刀279
32	通		短刀 銘[表]勝家作 [裏]永正二年八月日	室町時代後期・永正2年(1505)	個人	
33	前		刀 銘[表]賀州住藤原家忠	江戸時代前期(17世紀中頃)	本館	初代家忠
34	通		刀 銘[表]賀州住藤原家忠	江戸時代前期(17世紀中頃)	個人	初代家忠
35	後		刀 銘[表]賀州住藤原氏吉家作/延寶七年八月日 [裏]陀羅尼吉右衛門尉作之	江戸時代前期・延寶7年(1679)	本館	赤羽刀3393

36	通		脇指 銘[表]加陽金府住／藤原氏吉家 [裏]陀羅尼吉右衛門尉作之	江戸時代前期（17世紀中頃）	久昌寺	
36-附			黒漆塗鞘脇指拵	江戸時代		小柄：銘 加州住兼久
37	通		刀 銘[表]加州住人杉浦仁右衛門尉殿任望／ 同國藤原四郎兵衛尉家平作之 [裏]寛文拾陸戌曆八月日	江戸時代前期・寛文10年（1670）	個人	初代家平
38	前		刀 銘[表]賀州住藤原家平作 [裏]延宝五年八月日	江戸時代前期・延宝5年（1677）	本館	初代家平 本多図書家老・高橋家伝来
39		後	脇指 銘[表]加州金澤住家平	江戸時代中期（17世紀末～18世紀）	本館	2代家平 赤羽刀50
40	通		刀 銘[表]□□□□御寄進依 仰奉作之／ 加州住藤原家重造 [裏]承應三年八月 日	江戸時代前期・承應3年（1654）	個人	3代家重（初代勝国と同人） 瑞龍寺奉納刀
追13	通		白鞘 銘[表]承應三年八月廿日／加州住藤原信友	江戸時代前期・承應3年（1654）	本館	瑞龍寺奉納刀白鞘
41	前		刀 銘[表]加州住藤原家重作 [裏]万治元年八月日	江戸時代前期・万治元年（1658）	個人	
41-附			黒漆蠟色塗鞘打刀拵	江戸時代末期（19世紀）		鐔：銘[表]加州金澤住／ 村沢國則（花押） 縁：銘 桑村善次／盛股
42	通		刀 銘[表]伊豫大掾橘勝國（花押） [裏]寛文七年八月吉日／ （金象嵌）たい／土壇拂 切手 村井三郎右衛門長昭（花押）	江戸時代前期・寛文7年（1667）	個人	初代勝国
42-附			黒漆蠟色塗鞘打刀拵	江戸時代		
43		後	刀 銘[表]伊豫大掾橘勝國	江戸時代前期（17世紀後半）	本館	初代勝国 赤羽刀271
44	前		刀 銘[表]伊豫大掾多羅尼橘勝國作	江戸時代前期（17世紀後半）	本館	初代勝国 赤羽刀272
追3		後	刀 銘[表]加州金澤住陀羅尼橘勝國／ 貞享四年八月日 [裏]安江郷／八幡宮 仰家業高名	江戸時代前期・貞享4年（1687）	個人	2代勝国
45	通		刀 銘[表]加州住橘勝家作	江戸時代前期（17世紀後半）	個人	縁：文久3年（1863）作 銘 山尾次六侶延作／ 文久三亥中秋
45-附			黒漆蠟色塗鞘打刀拵	江戸時代後期（19世紀）		
追4	通		刀 太刀銘[表]北藩鍛工陀羅尼橘泰平作 [裏]寛政十年二月社日	江戸時代後期・寛政10年（1798）	個人	2代泰平
46	前		刀 銘[表]賀州住藤原信忠	江戸時代前期（17世紀中頃）	本館	赤羽刀2285
47		後	刀 銘[表]賀州住藤原長次	江戸時代前期（17世紀中頃）	本館	赤羽刀2121

第5章 加州刀の新風 兼若

番号	展示	指定等	名称・銘	時代	所蔵者	備考
追5	通	重要美術品	刀 銘[表]兼若 [裏]慶長九	桃山時代・慶長9年（1604）	個人	初代兼若 号野分
追6	通		脇指 銘[表]賀州住兼若作 [裏]慶長拾二年二月日	桃山時代・慶長12年（1607）	個人	初代兼若
48	前		刀 銘[表]賀州住兼若造	桃山時代（17世紀初）	本館	初代兼若 加賀藩士・松本家伝来
48-附			朱漆塗鞘打刀拵	江戸時代前期		加賀藩士・松本家伝来
49		後	刀 銘[表]賀州住兼若造	桃山時代（17世紀初）	本館	初代兼若 赤羽刀188
50	前		短刀 銘[表]賀州住兼若造	桃山時代（17世紀初）	本館	初代兼若 赤羽刀181
51	通	石川県文	刀 銘[表]越中守藤原高平（花押） [裏]元和七年十二月日	桃山時代・元和7年（1621）	石川県立美術館	初代兼若
52		後	刀 銘[表]越中守藤原高平 [裏]元和八年正月日	桃山時代・元和8年（1622）	金沢美術工芸大学	初代兼若
53	前	重要刀剣	脇指 銘[表]辻村越中守 藤原 高平（花押） [裏]元和九年三月三日	桃山時代・元和9年（1623）	リードケミカル株式会社	初代兼若
54		後	刀 銘[表]越中守藤原高平	桃山時代～江戸時代初期 （17世紀初）	本館	初代兼若 本多図書家老・高橋家伝来
55		後	短刀 銘[表]越中守藤原高平	江戸時代初期（17世紀初）	個人	初代兼若
55-附			黒漆蠟色笛巻塗鞘短刀拵	江戸時代		
56	前		脇指 銘[表]越中守藤原高平 [裏]寛永三年正月吉日	江戸時代前期・寛永3年（1626）	金沢美術工芸大学	初代兼若
57	通		薙刀 銘[表]加州藤原景平 [裏]寛永七年十一月日	江戸時代前期・寛永7年（1630）	個人	
58	前		脇指 銘[表]賀州藤原景平 [裏]（金象嵌）大たてわり志きうて土壇拂／ 大川原八右衛門長次（花押） 是様	江戸時代前期（17世紀前半）	本館	赤羽刀296
59	通		脇指 銘[表]賀州金沢住藤原朝臣／ 辻村四郎右門尉景平（花押） [裏]寛永拾七二月吉日作之	江戸時代前期・寛永17年（1640）	本館	赤羽刀297
60		後	脇指 銘[表]（金象嵌）一尺四寸三分劔／ 延宝七年未三月八日ニツ胴截断／ 山野勘十郎久英（花押） [裏]（金象嵌）寛文二年六月十日／ 貳ツ胴截断／山野加右衛門永久（花押）	江戸時代前期（17世紀中頃）	本館	清平か 赤羽刀4447

61	前		脇指 銘[表]賀州住藤原清平 [裏]於武州江城造之	江戸時代前期 (17世紀後半)	本館	赤羽刀784
追7	前		刀 銘[表]賀州住兼若 [裏]播州以鉄造	江戸時代前期 (17世紀後半)	個人	2代兼若
62		後	脇指 銘[表]賀州住兼若／以南蠻鐵造	江戸時代前期 (17世紀中頃)	本館	2代兼若
追8		後	脇指 銘[表]賀州金沢住人藤原辻村又助兼若／ 五十二歳造之 [裏]寛文元年辛丑八月日	江戸時代前期・寛文元年 (1661)	個人	2代兼若
63		通	刀 銘[表]賀州住兼若 [裏]寛文八年二月吉日	江戸時代前期・寛文8年 (1668)	本館	2代兼若 前田修理家伝来
63-附			檜皮色虫喰塗鞘打刀拵	江戸時代		前田修理家伝来
64	前		脇指 銘[表]賀州住兼若	江戸時代前期 (17世紀中頃)	本館	2代兼若 赤羽刀173
65		後	脇指 銘[表]賀州住兼若	江戸時代前期 (17世紀中頃)	本館	2代兼若 赤羽刀175
66		通	刀 銘[表]賀州住兼若 [裏]靈護 寛政庚申仲冬十七／ 支那危難子孫宝焉／雅樂助岸駒識	江戸時代前期 (17世紀後半)	石川県立美術館	3代兼若 岸駒所用
67	前		刀 銘[表]賀州住兼若	江戸時代前期 (17世紀後半)	本館	3代兼若 赤羽刀189
68		通	刀 銘[表]賀州住兼若 [裏]延寶六年二月吉日	江戸時代前期・延宝6年 (1678)	本館	3代兼若
69		後	刀 銘[表]賀州金澤住藤原兼若	江戸時代前期 (17世紀後半)	本館	3代兼若 赤羽刀182
70	前		刀 銘[表]賀州住兼若	江戸時代前期 (17世紀後半)	金沢美術工芸大学	3代兼若
71		後	刀 銘[表]賀州住兼若	江戸時代前期 (17世紀後半)	金沢美術工芸大学	3代兼若
72	前		脇指 銘[表]加賀国金澤住人兼若造 [裏]青木氏直之所持之	江戸時代前期 (17世紀後半)	本館	3代兼若 青木直之所用 赤羽刀4207
73	前		刀 銘[表]賀州住兼若	江戸時代前期 (17世紀後半)	本館	3代兼若 赤羽刀191
74		後	脇指 銘[表]賀州住兼若	江戸時代前期 (17世紀後半)	本館	3代兼若 赤羽刀176
75	前		刀 銘[表]加州出羽守高平	江戸時代前期 (17世紀後半)	本館	本多図書家老・高橋家伝来
追9		後	脇指 銘[表]加州金澤住高平／此打物三ヶ年成就所 [裏]石刃鉄以丸鍛造之／天和三年二月吉日	江戸時代前期・天和3年 (1683)	個人	
76		通	短刀 銘[表]奉 志津兼氏後胤辻村兼若／ 主命嚴潔斎鍛加金恭造之 [裏]今枝民部源直方／富家嫡流之守護／ 享保丁酉孟冬穀旦 [棟]伯仲叔之叔刀	江戸時代中期・享保2年 (1717)	個人	4代兼若 加賀藩士・今枝家伝来
77	前		刀 銘[表]加州金澤住藤原兼則作 [裏]延寶二年八月吉日	江戸時代前期・延宝2年 (1674)	本館	赤羽刀408
78		後	刀 銘[表]賀州住藤原炭宮兼春	江戸時代前期 (17世紀中頃)	本館	赤羽刀390

第6章 加州刀の終焉

番号	展示	指定等	名称・銘	時代	所蔵者	備考
79	前		刀 銘[表]加州住陀羅尼橋勝久 [裏]天保十三年 於町會所／本朋上々土壇拂	江戸時代後期・天保13年 (1842)	本館	赤羽刀8144
80		後	刀 銘[表]北藩藤原大壽作 [裏]田中半蔵正方佩刀	江戸時代後期 (19世紀)	本館	田中正方所用
81		通	脇指 銘[表]加州住藤原兼重 (花押) / 嘉永三年于観音堂造之 [裏]舒鳴齋大音厚義佩之	江戸時代末期・嘉永3年 (1850)	個人	大音厚義所用
82	前		刀 銘[表]加陽金府住／木下甚之丞藤原兼重作之 [裏]安政一三年八月吉日	江戸時代末期・安政4年 (1857)	本館	赤羽刀162
83		後	刀 銘[表]加州住兼重 [裏]安政五年八月日	江戸時代末期・安政5年 (1858)	本館	赤羽刀539
84	前		刀 銘[表]加陽金府住／木下伊勢大掾藤原兼重 [裏]文久元年八月吉日	江戸時代末期・文久元年 (1861)	個人	
追10		後	雑刀 銘[表]金府住信友	江戸時代後期 (19世紀中頃)	個人	10代信友
追10-附			堅木朱漆腰刻長巻拵	江戸時代後期 (19世紀中頃)		
追11		通	刀 銘[表]加州泉小次郎十一代孫藤江清次郎藤原清光 [裏]明治二年巳八月吉日應需作之	明治時代初期・明治2年 (1869)	個人	12代清光
追11-附			朱漆変り塗鞘打刀拵	明治時代初期 (19世紀後半)		
85		通	短刀 銘[表]加州住藤原清光 [裏]明治三年八月吉日作之	明治時代初期・明治3年 (1870)	個人	12代清光
追12		通	短刀 銘[表]清一 [裏]明治二二年二月吉日	明治時代初期・明治4年 (1871)	本館	13代清光
追12-附			黒漆塗千段鞘合口拵	明治時代初期 (19世紀後半)		

第7章 拵

番号	展示	指定等	名称	時代	所蔵者	備考
86		重要刀装	白澤打刀拵 (石目地雪花文鞘半太刀拵)	江戸時代末期 (19世紀)	個人	前田慶寧所用 鐺：銘[表]加州住 [裏]鈴木嘉平／ 義敬 (花押)

87	通		黒漆蠟色塗鞘脇指拵	江戸時代末期（19世紀）	公益財団法人 宗桂会	横山家伝来 鐔：銘[裏]水野光和（花押）
88		後	黒漆石目地塗鞘打刀拵	江戸時代末期（19世紀）	個人	鐔：銘[表]兼重鍛 [裏]彫／加陽金城住／ 鈴木義敬（花押） 縁頭：銘 鈴木義敬（花押）
89	通		黒漆変り塗鞘半太刀拵	江戸時代後期（19世紀）	金沢美術工芸大学	
90	通	重要刀装具	揃小柄	江戸時代後期（19世紀）	リードケミカル株式会社	

参考資料

番号	展示	指定等	名称	時代	所蔵者	備考
参考1	通	石川県文	加越能鍛冶系図 巻①・巻③	江戸時代	金沢市立玉川図書館	
参考2	通	石川県文	加越能刀鍛冶略伝	明治時代	金沢市立玉川図書館	
参考3	通		古今加越能鍛冶系図	万延2年（1861）	本館	
参考4	通		古今銘尽 巻①	享保2年（1717）	本館	
参考5	通		古今銘尽合類大全 下巻	江戸時代	本館	
参考6	通		古刀銘尽大全 巻②	寛政4年（1792）以降	金沢市立玉川図書館	
参考7	通		新刀銘尽大全	弘化2年（1845）	本館	
参考8	通		新刀銘尽 巻②	享保6年（1721）	金沢市立玉川図書館	
参考9	通		本朝新刀一覽	弘化2年（1845）	金沢市立玉川図書館	
参考10	通		刀工番附	安永7年（1778）	金沢市立玉川図書館	
参考11	通		古刀新刀目利早手引	弘化4年（1847）	金沢市立玉川図書館	
参考12	通		新刀銘鑑	寛政11年（1799）	金沢市立玉川図書館	
参考13	通		多能しみ草子	江戸時代末期（19世紀）	本館	
追参考1	通		伊藤家由緒帳（白銀師伊藤家文書）	明治3年（1870）	本館	
追参考2	通		二人扶持宛行状（白銀師伊藤家文書）	慶應元～2年（1865～66）	本館	
追参考3	通		前田土佐守并長大隅守御用太刀細工図巻 （白銀師伊藤家文書）	文久2～3年（1862～63）	本館	
追参考4	通		井波瑞泉寺様御太刀図（白銀師伊藤家文書）	嘉永2年（1849）	本館	
参考14	通		新陰流兵法書	万治3年（1660）	本館	
参考15	通		愛洲陰之流目録	未詳	本館	
参考16	通		不動智	江戸時代	本館	
参考17	通		中糸流平法伝受 上・下巻	未詳	金沢市立玉川図書館	
参考18	通		深甚流印可之巻	寛政4年（1792）	小松市立図書館	
参考19	通		深甚流秘伝書 勝負習法	文政6年（1823）	小松市立図書館	
参考20	通		無拍子流和序他	文化2年（1805）	金沢市立玉川図書館	
参考21	通		田宮流居合介錯之巻免許状	安永6年（1777）	本館	
参考22	通		田宮流居合極意伝書	嘉永2年（1849）	本館	
参考23	通		居合術覚	未詳	本館	
参考24	通		刀剣心得	天保7年（1836）	金沢市立玉川図書館	
参考25	通		神明流大事	江戸時代（19世紀）	金沢市立玉川図書館	
参考26	通		神明流業書	江戸時代（19世紀）	金沢市立玉川図書館	

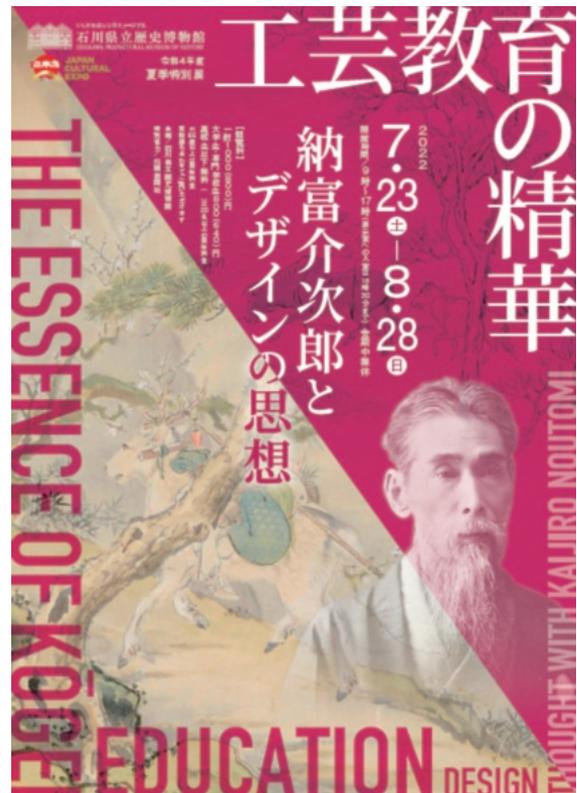
夏季特別展

「工芸教育の精華

—納富介次郎とデザインの思想—

納富介次郎（号：介堂）を初代校長として開校した「金沢工業学校」は、日本で最初の工芸とデザインを専門的に教育する学校でした。日本の伝統的なものづくり思想に西洋のデザイン思想を融合させた創造的なカリキュラムにより、多彩な工芸・デザイン教育が展開され、その成果として石川の工芸は今日工芸王国と称されるまでに発展を遂げ、日本の工芸文化を先導する役割を担うまでになったのです。

工芸作家の成長には、師である教育者の存在が重要な意味をもちます。教育者がもつ技術や理論のみならず、人間性や生き様までもを参考にして作家は成長するのです。本展は、「金沢工業学校」開校以降、石川県にゆかりのある工芸教育者たちにより制作された作品や図案、図書資料等を一堂に展示することで、工芸王国石川が誇る先進的な工芸教育の全容と、各時代の教育者たちがもつ教育理念や工芸文化に対する想いなどを理解して頂くことを目的として開催しました。



会 期	令和4年7月23日（土）～令和4年8月28日（日）
時 間	9：00～17：00（チケットの販売は16：30まで） ナイトミュージアム開催時（7月23日～8月13日迄の毎週金・土曜日）時は20：00まで
観 覧 料	一般 1,000円（800円）、大学生 800円（640円）、高校生以下無料 ※（ ）内は20名以上の団体料金、65歳以上は団体料金
会 場	特別展示室 企画展示室
展示構成	第1章 工芸教育の黎明 / 第2章 教育思想の継承と発展 / 第3章 工芸教育の現状と未来
催 物	石川の歴史遺産セミナー（リレー講義） 『近代石川の工芸教育』（聴講無料・要申込） ①「輪島における工芸指導と産地の発展」 日 時：7月31日（日）13:30～15:00 講 師：寺尾藍子氏 （石川県輪島漆芸美術館主任学芸員） 会 場：当館ワークショップルーム 参加者：22名 ②「板谷波山とアール・ヌーヴォー、 実験場としての石川県立工業学校」 日 時：8月7日（日）13:30～15:00 講 師：花井久穂氏 （東京国立近代美術館主任研究員） 会 場：当館ワークショップルーム 参加者：22名
	れきはくゼミナール（聴講無料・要申込） 「納富介次郎とデザインの思想」 日 時：8月20日（土）13:30～15:00 講 師：鶴野俊哉（当館普及課長） 会 場：当館ワークショップルーム 参加者：25名
	ナイトギャラリートーク（聴講無料・要申込） 日 時：7月23日（土）17:00～18:00 7月29日（金）17:00～18:00 会 場：特別展会場 参加者：7月23日 4名 7月29日 5名

ワークショップ

①染織講習会

「友禅藍染のハンカチをつくってみよう」

日 時：7月30日（土）13：30～15：30

講 師：弘田朋実氏

（金沢美術工芸大学非常勤講師）

会 場：当館ワークショップルーム

参加者：28名

②加賀刺繍講習会

「藍染ハンカチに加賀刺繍をしてみよう」

日 時：8月6日（土）13:30～15:00

講 師：横山佐知子氏

（石川県加賀刺繍協同組合理事長）

会 場：当館ワークショップルーム

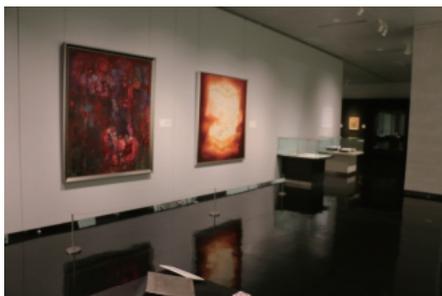
参加者：25名



展示風景



展示風景



展示風景



展示風景



展示風景



展示風景



ワークショップ 染織講習会



ワークショップ 加賀刺繍講習会

出品リスト

【凡例】 データは展示番号、教育者名（不明の場合もある）、題名、制作年（不明の場合もある）、サイズ（cm）、所蔵者の順に記載

001 納富介次郎（号：介堂） 《水墨山水図》（絹本墨画） 明治15年（1882） 縦133.6 横39.3 石川県立歴史博物館蔵	伝・村上九郎作（号：鉄堂） 《二匹鯛》 明治36年頃（C.1903） 最大径70.5 高2.5 高岡市立博物館蔵	明治時代 縦132.5 横67.8 個人蔵
002 納富介次郎（号：介堂） 《蓬莱之図》（絹本着色） 明治～大正時代 縦112.5 横36.4 個人蔵	010 《金沢勸業博物館平面図》 明治9年頃（C.1876） 縦81.2 横105.1 成巽閣蔵	018 村上九郎作（号：鉄堂） 《新田義貞稲村ヶ崎宝剣激浪に投ず》 明治26年（1893） 高190.0 幅128.0 奥行4.5 藤島神社蔵
003 納富介次郎（号：介堂） 《春江帰牧図》（絹本着色） 大正3年（1914） 縦132.0 横42.7 個人蔵	011 山本光一 《高砂図》（絹本着色） 明治24年頃（C.1891） 縦103.2 横41.2 個人蔵	019 山中商会 《春日式椅子》 明治37年（1904） 高110.0 幅59.0 奥行80.0 高岡市教育委員会蔵
004 納富介次郎（号：介堂） 《関羽之図》（紙本着色） 明治時代 縦160.0 横85.5 石川県立歴史博物館蔵	012 伝：川越政勝 《鷲刺繍衝立》 明治33年頃（C.1900） 高156.0 幅172.0 奥行44.0 個人蔵	020 La plante et ses applications ornementales 《IRIS》 明治29年（1896） 縦43.4 横31.7 石川県立工業高等学校蔵
005 納富介次郎（号：介堂） 《功名図》（紙本着色） 明治15年（1882） 縦107.0 横26.1 須田菁華蔵	013 得田耕（号：百禾） 《ポルト・ナット製図課題》 明治22年頃（C.1889） 縦30.0 横40.0 個人蔵	021 村上九郎作（号：鉄堂） 《鎌倉塗菊ノ高坏》 明治38年頃（C.1905） 径26.3 高10.3 石川県立歴史博物館蔵
006 納富介次郎（号：介堂） 《竹林図屏風》六曲一隻 大正時代 縦156.5 横336.0 個人蔵	014 友田安清（号：九溪） 《春晓花冠之図》（絹本着色） 明治時代 縦35.8 横42.7 石川県立歴史博物館蔵	022 村上九郎作（号：鉄堂） 《鴛鴦の大盆》 明治38年頃（C.1905） 長径40.3 短径26.0 高2.4 石川県立歴史博物館蔵
007 納富介次郎（号：介堂） 《迎藹苑「水滴」添削図案》 明治23年（1890） 縦30.0 横40.0 個人蔵	015 友田安清（号：九溪） 《寒山拾得図》（紙本着色） 明治時代 縦144.0 横70.2 石川県立歴史博物館蔵	023 村上九郎作（号：鉄堂） 《鎌倉塗蓮の大盆》 明治38年頃（C.1905） 長径46.5 短径29.3 高3.1 石川県立歴史博物館蔵
008 納富介次郎（号：介堂） 《迎藹苑「硯」添削図案》 明治23年（1890） 各縦30.0 各横40.0 個人蔵	016 友田安清（号：九溪） 《赤絵金彩壺》 明治時代 径11.0（最大径22.0） 高31.0 個人蔵	024 和田重太郎（号：好山） 《斎藤別当実盛図》（絹本着色） 明治～大正時代 縦116.0 横50.5 個人蔵
009	017 鈴木宗太郎（号：華邨） 《鷲ノ図》（絹本着色）	025 和田重太郎（号：好山） 《鶉飼之図》（紙本着色）

明治時代
縦124.5 横29.3
個人蔵

026
和田重太郎（号：好山）
《鵜》
明治時代
高13.0 幅17.0 奥行22.0
個人蔵

027
和田重太郎（号：好山）
《藤花小禽図》（紙本着色）
明治～大正時代
縦132.6 横41.2
個人蔵

028
和田重太郎（号：好山）
《那谷寺屏風》六曲一隻
昭和25年（1950）
縦157.6 横332.8
個人蔵

029
須田与三郎（号：初代菁華）
《万曆赤絵龍文向付》
明治時代
径11.0 高5.5
須田菁華蔵

030
須田与三郎（号：初代菁華）
《古赤絵獅子香炉》
明治時代
径8.0 高16.0
須田菁華蔵

031
石野兵太郎（号：龍山）
《孔雀文様花瓶》
明治～大正時代
径10.4（最大径16.2） 高30.0
石川県立歴史博物館蔵

032
諏訪好武（号：蘇山・金水堂）
《葡萄透彫彩色花瓶》
明治時代
径18.0（最大径34.5） 高64.5
南惣美術館蔵

033
青山忠次（号：観水）
《江南春曉図屏風》六曲一双
明治時代
各縦93.0 各横276.8
個人蔵

034
Henri Toulouse-Lautrec
《Divan Japonais》
明治25年頃（C.1892）
縦77.0 横59.5
石川県立工業高等学校蔵

035
Jules Chéret
《Purgatif GERAUDEL》
明治27年頃（C.1894）
縦234.7 横84.2
石川県立工業高等学校蔵

036
大垣昌訓
《四季草花蒔絵木銚子（春・夏・秋・冬）》
明治時代
各径10.2 各胴径11.4 各高17.2
金沢市立中村記念美術館蔵

037
久保田米吉（号：米僊）
《閣子儀之図》（絹本着色）
明治17年（1884）
縦143.2 横72.0
個人蔵

038
石川県立工業学校
《結晶釉花瓶》
明治時代
口径3.4 胴径9.8 高17.3
東京藝術大学所蔵

039
久世清（号：初代天声）
《灰釉急須・湯呑》
大正初期
灰釉急須（径11.0 高7.5）
湯呑（径7.5 高4.5）
芦原焼窯元蔵

040
板谷嘉七（号：波山）
《彩磁 延寿文水指》
昭和17年（1942）

径22.0 高17.5
東京国立近代美術館蔵

041
山田忠蔵（号：敬中）
《浄穢界》（絹本着色）
明治27年（1894）
縦143.8 横71.1
東京藝術大学所蔵

042
竹内直輔（号：吟秋・節翁）
《赤絵鶴寿老人花瓶》一對
各径18.0 各高45.5
石川県立工業高等学校蔵

043
前川佐一（号：観水）
《躑躅ノ図漆器蒔絵手箱》
高8.0 幅21.0 奥行21.0
石川県立工業高等学校蔵

044
藤岡金吾・前川佐一（号：観水）合作
《籠型菓子器》
大正4年（1915）
径15.0（最大径19.5） 高15.0
石川県立工業高等学校蔵

045
青木外吉
《農夫》
明治34年（1901）
高109.0 幅34.0 奥行40.0
東京藝術大学所蔵

046
高橋鐵雄（飛鳥哲雄）
《工場》
縦40.0 横52.0
石川県立工業高等学校蔵

047
高橋鐵雄（飛鳥哲雄）
《けし藋など》
縦46.0 横38.0
石川県立工業高等学校蔵

048
山脇雄吉（号：荷声・嶋雲）
《月下舟遊図》（絹本着色）
縦131.0 横51.8
個人蔵

049 張間喜一 《鷺蒔繪衝立》 昭和17年(1942) 高120.0 幅166.5 奥行35.0 石川県輪島漆芸美術館蔵	《早旦》 昭和54年(1979) 径40.2 高4.5 東京国立近代美術館蔵	中村恒(号:翠恒) 《瑞鳥ノ図飾皿》 径41.0 高6.0 石川県立九谷焼技術研修所蔵
050 安達正太郎(号:竹坡・陶仙) 《至誠通天桜模様花瓶》 径12.0(最大径16.0) 高35.5 石川県立工業高等学校蔵	058 佐治賢使(正) 《朝まだき》 平成3年(1991) 縦90.0 横120.0 石川県輪島漆芸美術館蔵	066 真鍋知道 《かわうそ置物》 高48.5 幅28.0 奥行22.0 石川県立工業高等学校蔵
051 《工業図案所考案陶磁器図案 「桜とぜんまい」》 明治35年(1902) 縦57.0 横80.5 石川県立工業高等学校蔵	059 高橋勇(号:介州) 《花盛器》 昭和4年(1929) 径14.0 高21.2 東京藝術大学所蔵	067 前得二(号:大峰) 《沈金蝶散模様色紙箱》 昭和34年(1959) 高4.8 幅23.8 奥行26.6 東京国立近代美術館蔵
052 《工業図案所考案陶磁器図案「桐」》 縦57.0 横82.0 石川県立工業高等学校蔵	060 羽野禎三 《螺鈿六角鉢》 径25.5 高8.7 石川県立工業高等学校蔵	068 前得二(号:大峰) 《沈金けはひ飾箱》 昭和37年(1962) 高5.8 幅14.0 奥行7.0 東京国立近代美術館蔵
053 《工業図案所考案陶磁器図案「水仙」》 縦57.5 横80.5 石川県立工業高等学校蔵	061 太田誠二 《盛器》 径32.7 高9.0 石川県立工業高等学校蔵	069 松川互一 《篆刻》 縦53.0 横40.0 個人蔵
054 高光一也 《パストルの家》 縦164.0 横130.5 金沢市文化ホール蔵	062 玉井猪作(号:敬泉) 《松ノ図》(板絵墨画) 大正8年(1919) 縦176.5 横350.0 個人蔵	070 須田幸治 《白磁水差》 径16.0(最大径20.0) 高17.0 須田菁華蔵
055 松田権六 《蒔絵福寿草文小盆》 明治44年(1911) 高1.3 幅12.3 奥行17.1 東京国立近代美術館蔵	063 玉井猪作(号:敬泉) 《山紫陽花ノ図》(紙本着色) 大正10年(1921) 縦136.0 横32.0 個人蔵	071 須田幸治 《色絵蝶文陶筥》 高3.0 幅18.0 奥行8.5 須田菁華蔵
056 松田権六 《草花鳥獸文小手箱》 大正8年(1919) 高15.8 幅21.0 奥行23.5 東京藝術大学所蔵	064 木村文二(号:雨山) 《縮緬地友禪訪問着 華》 昭和39年(1964) 丈167.0 裃130.0 東京国立近代美術館蔵	072 浅田二郎 《夏》(紙本着色) 縦84.0 横111.6 石川県立工業高等学校蔵
057 佐治賢使(正)	065	073 寺井直次 《高嶺の松小屏風》 昭和61年(1986)

縦30.0 横177.0
東京国立近代美術館蔵

074
大場勝雄（号：松魚）
《平文宝石箱》
昭和33年（1958）
高17.4 幅24.5 奥行15.3
東京国立近代美術館蔵

075
大場勝雄（号：松魚）
《平文千鳥盤》
昭和52年（1977）
高5.2 幅30.2 奥行21.5
東京国立近代美術館蔵

076
北出藤雄（不二雄）
《青釉縞文筒》
径22.0 高40.0
石川県立工業高等学校蔵

077
武腰敏昭
《無鉛釉「王鳥」》
平成28年（2016）
高28.0 幅63.0 奥行19.0
能美市九谷焼美術館五彩館蔵

078
久世建二（号：四代天声）
《落下 1991》
平成3年（1991）
左：高13.5 幅34.0 奥行35.0
右：高18.0 幅37.0 奥行31.0
個人蔵

079
久世建二（号：四代天声）
《ヒトガタ》
平成30年（2018）
高100.0 幅55.0 奥行8.0
個人蔵

080
十代大樋長左衛門（陶冶斎）
《指絵・金彩「双馬行萬里」》
平成25年（2013）
高49.0 幅30.0 奥行31.0
金沢市立中村記念美術館蔵

081

川北良造
《櫛造盛器》
令和元年（2019）
径42.0 高7.5
石川県挽物轆轤技術研修所蔵

082
川北良造
《櫛造嵌装鉢》
平成29年（2017）
径22.0 高10.0
石川県挽物轆轤技術研修所蔵

083
中川衛
《象嵌臙銀花器》
平成7年（1995）
高19.5 幅38.5 奥行20.0
金沢市立中村記念美術館蔵

084
前史雄
《花明かり》
平成17年（2005）
高16.0 幅24.0 奥行24.0
石川県輪島漆芸美術館蔵

085
前史雄
《沈金春愁文漆箱》
平成元年（1989）
高13.0 幅30.0 奥行18.0
石川県輪島漆芸美術館蔵

092
埜谷勉
《結集》
昭和48年（1973）
縦162.0 横130.0
石川県文教会館蔵

093
松川竹志
《よーいドン》
平成25年（2013）
高200.0 幅45.0 奥行45.0
個人蔵

094
松川竹志
《祭壇》
昭和56年（1981）
高28.0 幅47.0 奥行20.0
個人蔵

095
鶴野俊哉
《陶漆「仁稜」》
平成28年（2016）
高18.0 幅30.0 奥行15.0
個人蔵

096
鶴野俊哉
《陶漆「SPRAIN」》
平成31年（2019）
高10.0 幅25.0 奥行15.0
個人蔵

秋季特別展

令和4年度アイヌ工芸品展

「アトウイー海と奏でるアイヌ文化ー」

「アトウイ」はアイヌ語で「海」を意味します。アイヌ民族は、その主な居住地である北海道・樺太(サハリン)・千島列島を広大な海に囲まれ、海獣のほか魚類・海藻類など豊かな海の恵みにあずかってきました。また、アイヌ民族にとって海は外の世界とつながる道でもあり、大陸や本州との交流をもとに豊かな文化を発展させてきました。北海道と北陸でやり取りされた海産物や工芸品の数々は、海を介した接触と交渉の歴史を伝えてくれます。

本展では、豊富な民具資料を軸にアイヌ民族と海との関りを紹介しました。



チラス

- 会 期** 令和4年9月23日(金・祝)～令和4年11月13日(日) 10/19(水)は展示替えのため休室
前期:9月23日(金・祝)～10月8日(火) 後期:10月10日(木)～11月13日(日)
- 時 間** 9:00～17:00(展示室への入室は16:30まで)
- 観 覧 料** 一般 1,000円(800円)、大学生・専門学校生 800円(640円)
()内は20名以上の団体料金/65歳以上は団体料金/高校生以下無料
- 主 催** 石川県立歴史博物館・小樽市総合博物館・公益財団法人アイヌ民族文化財団
- 会 場** 特別展示室・企画展示室・ウェルカムラウンジ・ギャラリー
- 展示構成** 第1章 海に生きる / 第2章 海の恵み / 第3章 海に祈る / 第4章 海でつながる

催 物

記念講演会「アイヌ文化がつなぐ世界ー過去・現在・未来ー」(聴講無料・要事前申込)

日 時:10月2日(日)13:30～15:00

講 師:本田 優子氏(札幌大学教授)

会 場:ワークショップルーム

聴講者:36名

展示解説(要特別展チケット・申込不要)

日 時:9月23日(金・祝)13:30～14:30

講 師:山崎 幸治氏(北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授) / 当館学芸員

会 場:特別展会場

聴講者:19名

学芸員による展示解説(要特別展チケット・申込不要)

日 時:①11月3日(木・祝)13:30～14:30

②11月12日(土)13:30～14:30

会 場:特別展会場

聴講者:①11名 ②9名

ワークショップ「アザラシじょうずに獲れるかな？」

樺太アイヌがアザラシを捕獲するときに使った銚(模型)でアザラシ猟を体験(参加無料・申込不要)

日 時:9月24日(土)

10月10日(月・祝)

10月29日(土)

会 場:ウェルカムラウンジ

参加者:70人

石川の歴史遺産セミナー「はじめてふれるアイヌ文化」

(聴講無料・要事前申込)

日 時:11月13日(日)

①10:30～12:00 / ②13:30～15:00

会 場:ワークショップルーム

①「アイヌの海神信仰と神話」

講 師:北原 モコットウナシ氏(北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授)

②「アイヌ工芸の過去・現在・未来」

講 師:山崎 幸治氏(北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授)

聴講者:①48名 / ②41名

特別展関連れきはくゼミナール「北陸とアイヌの文化交渉」 (聴講無料・申込不要)

講 師：吉田 朋生 (当館学芸員)

日 時：10月15日(土) 13:30~15:00

会 場：ワークショップルーム

聴講者：38名

アイヌ伝統舞踊公演「白糠のフンペリムセ」 (観覧無料・申込不要)

出 演：白糠アイヌ文化保存会

日 時：10月1日(土) 11:00 開演

場 所：ワークショップルーム

参加者：30名

工芸ワークショップ「アイヌ刺繍でオリジナルTシャツづくり」 (参加無料・要事前申込)

講 師：宇佐照代氏・宇佐智美氏

日 時：10月29日(土)

①10:00~12:00/②14:00~16:00

会 場：ワークショップルーム

参加者：22名

石川県立図書館コラボ展示

「もっと知ろう！ アイヌ文化」

会期：9月27日(火)~11月13日(日)

会場：石川県立図書館

*関連イベント

アイヌ伝統舞踊「白糠のフンペリムセ (クジラの踊り)」と紙芝居

出 演：白糠アイヌ文化保存会

日 時：10月1日(土) 14:00 開演

場 所：石川県立図書館 だんだん広場



会場入口



展示風景



展示風景



展示風景



展示風景



展示風景



展示風景



関連展示コーナー



記念講演会



展示解説



ワークショップ「アザラシじょうずに獲れるかな？」



アイヌ伝統舞踊公演

出品目録



【凡例】

- 資料名称には日本語名称を記した。アイヌ語名を記したものもあるが、器物のアイヌ語名称には方言による違いがあり、同じ地域のなかでも同形のもの異なる名称で呼ぶことがある。今回展示する資料には、製作地・使用地・収集地といった情報が不足したものが含まれるため、北海道と樺太での代表的な名称を併記する。樺太方言による名称には、下線を付す。
- 展示期間は、通期展示を通、前期展示（9/23～10/18）を前、後期展示（10/20～11/13）を後と表記。
- 番号は図録掲載番号であり、会場の展示順とは必ずしも一致しない。図録未掲載の資料には番号を付けていない。
- 都合により、展示作品および展示期間が変更されることがある。
- 重有民文＝国指定重要有形民俗文化財、金沢市有民文＝金沢市指定有形民俗文化財、射水市有民文＝射水市指定有形民俗文化財、石川県文＝石川県指定文化財、函館市文＝函館市指定文化財、輪島市文＝輪島市指定文化財、加賀市文＝加賀市指定文化財
- 名取武光論文（1940）＝名取武光「北海道噴火湾アイヌの捕鯨」（北海道帝國大學）

第1章 海に生きる

番号	展示	指定等	名称	地域	年代	所蔵	備考
I-1	通		板綴じ舟(模型)	平取町	—	北海道博物館	酪農大学資料
I-2	通		板綴じ舟(模型)	—	—	国立アイヌ民族博物館	児玉作左衛門資料
I-3	通		板綴じ舟(模型)	—	—	国立アイヌ民族博物館	児玉作左衛門資料
I-4	通		ニヅフ民族の五板舟(模型)	樺太(サハリン)、オタス	1938年	北海道立北方民族博物館	米村喜男衛資料
I-5	通		板綴じ舟(模型)	釧路市興津	—	釧路市立博物館	佐藤直太郎資料
I-6	通		あかくみ	—	—	北海道大学 植物園・博物館	
I-7	通		斧	樺太(サハリン)	1879年	北海道大学 植物園・博物館	
I-8	通		銛	製作地:網走 収集地:美幌	1924年	北海道立北方民族博物館	米村喜男衛資料
I-9	通		銛	—	—	北海道大学 植物園・博物館	
I-10	通		銛	—	—	北海道大学 植物園・博物館	
I-11	通		銛先	北檜山町若松 (現せたな町)	—	北海道博物館	熊野喜蔵資料「1950年農業を営む和人より入手」
I-12	通		銛先	—	—	北海道博物館	旧拓殖館資料
I-13	通		銛先	—	—	国立アイヌ民族博物館	児玉作左衛門資料
I-14	通		銛先	幌別(現登別市)	—	北海道博物館	更科源蔵資料
I-15	通		銛先	—	—	国立アイヌ民族博物館	
I-16	通		銛先	—	—	国立アイヌ民族博物館	児玉作左衛門資料
I-17	通	重有民文	銛先	白老	1930～1940年代	市立函館博物館	アイヌの生活用具コレクション 馬場脩資料
I-18	通	重有民文	銛先	白老	1930～1940年代	市立函館博物館	アイヌの生活用具コレクション 馬場脩資料
I-19	通	重有民文	銛先	白老	1930～1940年代	市立函館博物館	アイヌの生活用具コレクション 馬場脩資料
I-20	通		銛先	幌別(現登別市)	—	北海道博物館	更科源蔵資料
I-21	通		銛用指掛け	北海道	—	北海道博物館	
I-22	通		銛用指掛け	北海道	—	北海道博物館	更科源蔵資料
I-23	通	重有民文	釣り針	樺太東海岸 落帆	1930～1940年代	市立函館博物館	アイヌの生活用具コレクション 馬場脩資料
I-24	通		釣り針	網走	1936年	北海道立北方民族博物館	米村喜男衛資料
I-25	通		網針	釧路市春採	—	釧路市立博物館	片岡新助・佐藤直太郎資料
I-26	通		網針	北海道	—	北海道博物館	酪農大学資料
I-27	通		網針	北海道	—	北海道博物館	酪農大学資料
I-28	通		網用目板	北海道	—	北海道博物館	酪農大学資料
I-29	通		網用目板	北海道	—	北海道博物館	酪農大学資料
I-30	通		銛網どめ	—	1935年	北海道大学 植物園・博物館	メモに「ニフンベ 獲物の数を計算する魚型 S.10」と有

第2章 海の恵み

番号	展示	指定等	名称	地域	年代	所蔵	備考
II-1	通		衣服(獣皮)	樺太(サハリン)	—	早稲田大学會津八一記念博物館	ニヅフ民族から入手という記録有
II-2	通		長靴	色丹島	1885年	北海道大学 植物園・博物館	

II-3	通		靴	樺太(サハリン)	1879年	北海道大学 植物園・博物館	
II-4	通		小物入れ	—	—	早稲田大学會津八一記念博物館	
II-5	通		メカジキ口吻(鼻先)	—	—	国立アイヌ民族博物館	
II-6	通		小刀	八雲	—	市立函館博物館	
II-7	通	重有民文	小刀	樺太東海岸 多来加	1930～1940年代	市立函館博物館	アイヌの生活用具コレクション 馬場脩資料
II-8	通		油入れ	釧路市	—	釧路市立博物館	片岡新助資料「クヨイ」
II-9	通		油入れ	網走	1929年	北海道立北方民族博物館	米村喜男衛資料
II-10	通		杓子	—	—	国立アイヌ民族博物館	
II-11	通		杓子	—	—	国立アイヌ民族博物館	
II-12	通		鍋	国後島・ 泊村(ゼンベコタン)	1938年	釧路市立博物館	片岡新助資料
II-13	通		貝下駄	—	—	国立アイヌ民族博物館	
II-14	通		灯火具	白糠町	1945年	釧路市立博物館	片岡新助資料
II-15	通		容器	—	—	国立アイヌ民族博物館	児玉作左衛門資料
II-16	通	重有民文	鉤鉋(部分)	八雲ユーラップ	1930～1940年代	市立函館博物館	アイヌの生活用具コレクション 馬場脩資料
II-17	通		弁慶	—	—	釧路市立博物館	

第3章 海に祈る

番号	展示	指定等	名称	地域	年代	所蔵	備考
III-2	通		人間を守護するカムイ(キツネ)	—	—	国立アイヌ民族博物館	児玉作左衛門資料
III-3	通		人間を守護するカムイ(キツネ)	白老町	—	国立アイヌ民族博物館	児玉作左衛門資料
III-4	通		人間を守護するカムイ(海鳥)	—	—	国立アイヌ民族博物館	
III-5	通		人間を守護するカムイ(アホウドリ)	平取町	1968年	国立アイヌ民族博物館	児玉作左衛門資料 萱野茂氏より
III-6	通		人間を守護するカムイ(アホウドリ)	北海道	—	北海道博物館	酪農大学資料
III-7	通		カメ神の頭骨	浦河町野深	—	北海道博物館	更科源蔵資料
III-8	通		人間を守護するカムイ (ハリセンボン)	—	—	国立アイヌ民族博物館	児玉作左衛門資料
III-9	通		イナウ	浦河町野深	—	北海道博物館	更科源蔵資料
III-10	通		イナウ	樺太西海岸 鶴城	—	北海道博物館	更科源蔵資料
III-11	通		冠	北海道 日高地方?	1918年以前	市立函館博物館	アオザメの歯
III-12	通		木偶	—	—	北海道大学 植物園・博物館	
III-13	通		「カムイギリ」(参考製作)	—	—	余市水産博物館	研究・展示のため参考製作
III-14	通		クジラ神の頭骨	—	—	北海道大学 植物園・博物館	長万部 名取武光論文(1940)にて言及
III-15	通		イナウ	長万部	—	北海道大学 植物園・博物館	名取武光論文(1940)にて言及
III-16	通		イナウ	長万部	—	北海道大学 植物園・博物館	名取武光論文(1940)にて言及
III-17	通		イクパスイ/イクニシ	—	1970年以前	市立函館博物館	児玉作左衛門資料 ウラに「児玉1740」「417」
III-18	通	重有民文	イクパスイ	北海道	1930～1940年代	市立函館博物館	アイヌの生活用具コレクション 馬場脩資料
III-19	通	重有民文	イクニシ	樺太西海岸 多蘭泊	1930～1940年代	市立函館博物館	アイヌの生活用具コレクション 馬場脩資料
III-20	通	重有民文	イクニシ	樺太西海岸 登富津	1930～1940年代	市立函館博物館	アイヌの生活用具コレクション 馬場脩資料
III-21	通	重有民文	イクニシ	樺太西海岸 登富津	1930～1940年代	市立函館博物館	アイヌの生活用具コレクション 馬場脩資料
III-22	通	重有民文	イクニシ	樺太西海岸 登富津	1930～1940年代	市立函館博物館	アイヌの生活用具コレクション 馬場脩資料
III-23	通	重有民文	イクニシ	樺太東海岸 落帆	1930～1940年代	市立函館博物館	アイヌの生活用具コレクション 馬場脩資料
III-24	通	重有民文	イクニシ	樺太東海岸 落帆	1930～1940年代	市立函館博物館	アイヌの生活用具コレクション 馬場脩資料
III-25	通	重有民文	イクニシ	樺太東海岸 落帆	1930～1940年代	市立函館博物館	アイヌの生活用具コレクション 馬場脩資料
III-26	通	重有民文	イクニシ	樺太東海岸 落帆	1930～1940年代	市立函館博物館	アイヌの生活用具コレクション 馬場脩資料
III-27	通	重有民文	イクニシ	樺太東海岸 落帆	1930～1940年代	市立函館博物館	アイヌの生活用具コレクション 馬場脩資料
III-28	通	重有民文	イクニシ	樺太東海岸 白浜	1930～1940年代	市立函館博物館	アイヌの生活用具コレクション 馬場脩資料
III-29	通	重有民文	イクニシ	樺太東海岸 新間	1930～1940年代	市立函館博物館	アイヌの生活用具コレクション 馬場脩資料
III-30	通		イクパスイ/イクニシ	—	—	国立アイヌ民族博物館	
III-31	通		イクパスイ/イクニシ	—	—	国立アイヌ民族博物館	児玉作左衛門資料
III-32	通		イクパスイ/イクニシ	—	—	国立アイヌ民族博物館	児玉作左衛門資料
III-33	通		イクパスイ	鹿追	1959年	国立アイヌ民族博物館	児玉作左衛門資料
III-34	通		イクパスイ/イクニシ	—	1965年	国立アイヌ民族博物館	児玉作左衛門資料 1965年、東京個人より
III-35	通		イクパスイ/イクニシ	—	—	国立アイヌ民族博物館	児玉作左衛門資料
III-36	通		イクパスイ	新冠町滑若	1950年	国立アイヌ民族博物館	児玉作左衛門資料
III-37	通		イクパスイ/イクニシ	—	—	国立アイヌ民族博物館	児玉作左衛門資料

III-38	通		イクバスイ	網走	1916年	北海道立北方民族博物館	米村喜男衛資料
III-39	通		イクバスイ	網走	1936年	北海道立北方民族博物館	米村喜男衛資料
III-40	通		イクバスイ	釧路市	1945年	釧路市立博物館	片岡新助資料
III-41	通		イクバスイ	噴火湾(長万部)	1900年代前半	北海道博物館	小倉泰資料
III-42	通		イクバスイ	静内 (現新ひだか町)	1954年	苫小牧市美術博物館	
III-43	通		イクバスイ	静内 (現新ひだか町)	1954年	苫小牧市美術博物館	
III-44	通		イクバスイ	静内 (現新ひだか町)	1954年	苫小牧市美術博物館	
III-45	通		イクバスイ/イクニシ	—	—	北海道大学 植物園・博物館	
III-46	通		イクバスイ/イクニシ	—	—	北海道大学 植物園・博物館	
III-47	通		イクバスイ/イクニシ	—	—	北海道大学 植物園・博物館	

第4章 海でつながる

番号	展示	指定等	名称	地域	年代	所蔵	備考
IV-1	通		琴平丸模型		20世紀	石川県立歴史博物館	
IV-2	通		蝦夷地方図		弘化4年(1847)	金沢市立玉川図書館	淡水(河野通義)写
IV-3	通	射水市 有民文	昆布絵馬		慶応4年(1868)	放生津八幡宮 (富山県射水市八幡町)	
IV-4	通	函館市文	蝦夷嶋図説 巻五		文政6年(1823)	函館市中央図書館	
IV-5	通		アイヌ風俗絵巻 巻四		19世紀後半	函館市中央図書館	
IV-6	通	石川県文	耕作大要		天明元年(1781)9月	石川県立歴史博物館	
IV-7	通	石川県文	民家検労図 上巻		天保6年(1835)頃	石川県立歴史博物館	
IV-8	通		杯		昭和29年(1954)以前	苫小牧市美術博物館	
IV-9	通		天目台		昭和29年(1954)以前	苫小牧市美術博物館	
IV-10	通		北海記		寛政9年(1797)	北海道大学附属図書館	
IV-11	通		静内郡引渡済之義申上候書付		明治2年(1869)	函館市中央図書館	
IV-12	前 右隻	後 左隻	アイヌ風俗図屏風		19世紀	個人	
IV-13	通		熊送り図額		明治31年(1898) 明治32年(1899)奉納	御島石部神社 (新潟県柏崎市西山町石地)	木戸竹石画 高橋喜蔵奉納
IV-14	通		蝦夷語箋		嘉永7年(1854)	金沢市立玉川図書館	
IV-15	通		松前蝦夷東西場所運上金并家数人別		明治元年(1868)	個人	
IV-16	通		北海紀行		明治7年(1874)	石川県立歴史博物館	
IV-17	前		衣服(樹皮繊維)		19世紀後半	加賀市北前船の里資料館 (石川県加賀市橋立町)	
IV-18		後	衣服(樹皮繊維)		19世紀後半	加賀市北前船の里資料館 (石川県加賀市橋立町)	
IV-19	前	金沢市 有民文	辰吉丸図額(船絵馬)		19世紀前半	粟崎八幡神社 (石川県金沢市粟崎町)	吉本善京画
IV-20	通	加賀市文	両徳丸図額(船絵馬)		明治13年(1880)	白山神社 (石川県加賀市大聖寺瀬越町)	
IV-21	前		衣服(草皮繊維)		19世紀後半	石川県立歴史博物館	輪島市門前町黒島町 北湯家伝来
IV-22		後	衣服(草皮繊維)		19世紀後半	石川県立歴史博物館	輪島市門前町黒島町 北湯家伝来
IV-23	通		衣服(木綿)		19世紀後半	糸魚川歴史民俗資料館 (相馬御風記念館)	
IV-24	通		脚絆		—	能生歴史民俗資料館	
IV-25	通		手拭い掛け		—	加賀市北前船の里資料館 (石川県加賀市橋立町)	
IV-26	通		帳面袋		—	石川県立歴史博物館	
IV-27	通		威徳丸イノウ奉納額		明治元年(1868)	藤塚神社 (石川県白山市美川南町)	
IV-28	通		秋味網卸し御祝儀取扱書		慶応3年(1867)	北海道博物館	
IV-29	通		千束祝取扱方		元治元年(1864)	北海道博物館	
IV-30	通	輪島市文	天社丸イノウ奉納額		明治20年(1887)	若宮八幡神社 (石川県輪島市門前町黒島町)	
IV-31	通	輪島市文	天社丸船中イノウ奉納額		明治21年(1888)	若宮八幡神社 (石川県輪島市門前町黒島町)	
IV-32	通	輪島市文	広徳丸イノウ奉納額		明治23年(1890)	若宮八幡神社 (石川県輪島市門前町黒島町)	
IV-33	通		産地渡貨物売約定証		明治21年(1888)5月	輪島市教育委員会	
IV-34	通		日鑑誌		慶応3,4年(1867,68)	石川県立図書館	
IV-35	通		【パネル展示】アイヌ絵巻		文化5年(1808)	北海道立文学館	現物は北海道会場(小樽市総合博物館、2022年12月3日～2023年3月5日)にて展示
IV-36	前		龍文錦七條袷袷		安永3年(1774)	西念寺 (石川県羽咋郡志賀町安部屋)	村山伝兵衛寄進
IV-37		後	龍文錦七條袷袷		19世紀後半	福専寺 (石川県羽咋郡志賀町福浦港)	
IV-38	通		首飾り		—	福専寺 (石川県羽咋郡志賀町福浦港)	
IV-39		後	龍文錦七條袷袷		19世紀後半	金相寺 (福井県南条郡南越前町河野)	

IV-40	通		青丸玉		19世紀後半	金相寺 (福井県南条郡南越前町河野)	
IV-41	通		数珠		19世紀後半	金相寺 (福井県南条郡南越前町河野)	
IV-42	前		龍文刺繍七條袷袋		18～19世紀	常願寺 (富山県南砺市院林)	
IV-43		後	龍文錦七條袷袋		19世紀前半	善興寺 (新潟県燕市吉田鴻巣)	
IV-44	前		龍文錦七條袷袋		19世紀後半	西巖寺 (新潟県新潟市北区島見町)	
IV-45	通		南極探検航海記録		明治43年(1910)～ 明治45年(1912)頃	羽咋市歴史民俗資料館	①「日記」(航海記) ②「日本南極探検日記」③「航海日誌」

関連コーナー 現代アート作品 (2棟1階にて展示)

番号	展示	指定等	名称	地域	年代	所蔵	備考
	通		マキリ(小刀)		2017年	(公財)アイヌ民族文化財団	浦川太八作
	通		タシロ(山刀)		2020年	(公財)アイヌ民族文化財団	藤戸幸夫作
	通		イタ(盆)		2021年	(公財)アイヌ民族文化財団	貝澤徹作
III-1	通		レブン・カムイ(沖を司る神)	釧路市阿寒町	1989年	(公財)アイヌ民族文化財団	床ヌプリ作
	通		オオカミ(親子)		2015年	(公財)アイヌ民族文化財団	藤戸竹喜作
	通		親子熊		不明	(公財)アイヌ民族文化財団	荒木繁作
	通		魚・いってえー		不明	(公財)アイヌ民族文化財団	貝澤幸司作
	通		カムイの手ではさむべあ～		2015年	(公財)アイヌ民族文化財団	貝澤徹作

企画展

「れきはくコレクション 2021-2022」

当館では、年度ごとに収集した資料をお披露目する展覧会を開催しています。本展では、令和4年の新収蔵品と、館内改修工事の影響でお披露目できなかった令和3年の新収蔵品を一堂に公開しました。

また、新収蔵品に関連する既存の館蔵品をあわせて展示することにより、新収蔵品を当館のコレクション形成に関連付けることを試みました。

会 期 令和4年12月10日(土)～令和5年1月9日(月・祝)

※令和4年12月28日(水)～令和5年1月3日(火)は休館

会 場 特別展示室 企画展示室

開館時間 9:00～17:00(展示室への入室は16:30まで)

展示解説 【日 時】令和4年12月21日(水)
13:30～14:30

【担 当】当館学芸員

【参加者】9名



ポスター



展示風景



展示風景



展示解説

出品目録



【凡例】

- ・本展覧会の出品資料は、すべて本館蔵である。
- ・複数の資料が一括して寄贈されたもののうち、個別で取り上げたものについては、備考に一括の登録名称を記した。
- ・主に美術品については、備考の欄を作者とした。
- ・新収蔵品の欄には、寄贈・購入の年を記載した。空欄のものは、令和2年以前の収蔵資料である。
- ・展示スペースの都合上、寄贈資料の一部は公開していない。

前田利家発給文書

番号	資料名	年代	備考	新収蔵品
1	前田利家書状 越後中納言宛	慶長2年(1597)		令和3年寄贈
2	前田利家朱印状 高嶋屋伝右衛門宛	文禄5年(1596)		

刀剣

番号	資料名	年代	備考	新収蔵品
3	脇指 銘[表]播磨大掾藤原清光 附 黒漆塗一分刻鞘脇指拵	江戸時代前期(17世紀中頃)		令和4年寄贈
4	刀 銘[表]清光	江戸時代前期(17世紀中頃)		
5	脇指 銘[表]加州金澤住藤原清光作	江戸時代前期(17世紀中頃)		
6	脇指 銘[表]賀州住清光	江戸時代前期(17世紀中頃)		
7	山刀 銘清光	江戸時代末期(19世紀中頃)		令和4年寄贈
8	短刀 銘[表]清一 [裏]明治二二年二月吉日 附 黒漆塗千段鞘合口拵	明治4年(1871)		令和4年寄贈

金沢城・戦争

番号	資料名	年代	備考	新収蔵品
9	二ノ御丸御造留帳	文化6年(1809)3月	才紀家文書	令和4年寄贈
10	乾松様御幟御用扣帳・長将之助様兜出来扣帳	天保8年(1837)・天保14年(1843)	才紀家文書	令和4年寄贈
11	才紀保之先祖由緒一類附帳	天保8年(1837)11月	才紀家文書	令和4年寄贈
12	資松様御幟御用扣帳	元治2年(1865)	才紀家文書	令和4年寄贈
13	金沢城絵図幅	明治時代後期(20世紀初頭)		令和3年寄贈
14	前田慶寧書幅	江戸時代後期(19世紀後半)		令和3年寄贈
15	古銃(エンフィールド銃)	慶応4年(1868)		令和4年寄贈
16	神棚	明治～昭和初期	西村松太郎収集資料	令和4年寄贈
17	将棋盤	昭和初期	西村松太郎収集資料	令和4年寄贈
18	反響壺	明治～昭和初期	西村松太郎収集資料	令和4年寄贈
19	雨落ち石	不詳	西村松太郎収集資料	令和4年寄贈
20	三勇士文鎮	昭和初期	西村松太郎収集資料	令和4年寄贈
21	携帯用日の丸	昭和初期	西村松太郎収集資料	令和4年寄贈
22	陸軍記念日ちらし	20世紀前半	ビラ・チラシ収集資料	令和4年寄贈
23	醒めよ！国防に！	20世紀前半	ビラ・チラシ収集資料	令和4年寄贈
24	米軍伝単 軍閥の圧政批判	昭和	ビラ・チラシ収集資料	令和4年寄贈
25	米軍伝単 日本の皆様	昭和20年(1945)8月13日	ビラ・チラシ収集資料	令和4年寄贈

看板・薬舗

番号	資料名	年代	備考(作者)	新収蔵品
26	廣瀬印房看板	大正～昭和初期	観広堂廣瀬印房関係資料	令和4年寄贈
27	印章・篆刻台	明治初期	観広堂廣瀬印房関係資料	令和4年寄贈
28	兼六公園誌(乾坤)	明治27年(1894)		
29	薬種商看板	江戸時代後期		令和3年寄贈
30	サイ衝立	幕末～明治時代		令和3年寄贈
31	一代略記	明治4年(1871)	薬舗「蔵回生堂」関係資料	令和4年寄贈
32	薬種商免許状	大正8年(1919)	薬舗「蔵回生堂」関係資料	令和4年寄贈
33	薬配合帳	明治4年(1871)	薬舗「蔵回生堂」関係資料	令和4年寄贈

34	法被	明治・大正期	葉舖「蔵回生堂」関係資料	令和4年寄贈
35	薬原料包紙	明治期	葉舖「蔵回生堂」関係資料	令和4年寄贈
36	蔵回生堂店舗写真	明治期	葉舖「蔵回生堂」関係資料	令和4年寄贈
37	蔵安兵衛肖像画	大正期	葉舖「蔵回生堂」関係資料	令和4年寄贈
38	薬配合帳(方選録)	明治43年(1910)	葉舖「蔵回生堂」関係資料	令和4年寄贈
39	薬祖尚之翁伝書 回春寿世金匱録	年不明	葉舖「蔵回生堂」関係資料	令和4年寄贈
40	コレラ救恤賞木盃	明治12年(1879)	葉舖「蔵回生堂」関係資料	令和4年寄贈
41	岐阜県震災被害救恤賞木盃	明治26年(1893)	葉舖「蔵回生堂」関係資料	令和4年寄贈
42	愛知県震災被害救恤賞木盃	明治24年(1891)	葉舖「蔵回生堂」関係資料	令和4年寄贈
43	蔵やす喜寿祝銀盃	昭和6年(1931)	葉舖「蔵回生堂」関係資料	令和4年寄贈
44	石川郡二十四番学区学務委員申付状	明治16年(1883)	葉舖「蔵回生堂」関係資料	令和4年寄贈
45	石川郡衛生会員当選状	明治21年(1888)	葉舖「蔵回生堂」関係資料	令和4年寄贈
46	金澤病院新築費用寄付につき褒状	明治14年(1881)	葉舖「蔵回生堂」関係資料	令和4年寄贈
47	神農図	文化15年(1818)制作	葉舖「蔵回生堂」関係資料	令和4年寄贈

橋本澄夫調査資料

番号	資料名	年代	備考	新収藏品
48	三室古墳群調査写真	昭和32年(1957)	橋本澄夫氏調査資料	令和3年寄贈
49	赤浦遺跡調査写真	昭和40年代	橋本澄夫氏調査資料	
50	赤浦遺跡出土土偶	縄文時代後期		
51	赤浦遺跡出土土器	縄文時代中期～後期		
52	赤浦遺跡出土石鏃	縄文時代中期～後期		
53	小浦遺跡調査写真	昭和29年(1954)	橋本澄夫氏調査資料	
54	小浦遺跡出土製塩土器	古墳時代後期		
55	森腰遺跡調査写真(パネル)	昭和38年(1963)	橋本澄夫氏調査資料	令和3年寄贈
56	越坂城ヶ崎遺跡出土製塩土器	飛鳥～平安時代		
57	越坂城ヶ崎遺跡調査日誌	昭和37年(1962)	橋本澄夫氏調査資料	

近代教育関係史料

番号	資料名	年代	備考	新収藏品
58	佐波郡教育是並教育奨励事項	明治43年(1910)		令和4年寄贈
59	新築増築スベキ学校調	明治43年(1910)～大正2年(1913)		令和4年寄贈
60	学校講習証明書	大正6年(1918)		令和4年寄贈
61	写真アルバム	大正10年～昭和50年代		令和3年寄贈
62	四高生写真アルバム	昭和13年(1938)～昭和16年(1941)		令和3年寄贈

和歌・俳諧・古典籍

番号	資料名	年代	備考	新収藏品
63	和歌七部之抄[版本]	承応元年(1652)	久世コレクション	令和4年寄贈
64	俳優三十六花撰[版本]	天保6年(1835)	久世コレクション	令和4年寄贈
65	俳諧百一集[版本]	嘉永3年(1850)	久世コレクション	令和4年寄贈
66	狂歌百人一首[版本]	文政期(1818-1830)	久世コレクション	令和4年寄贈
67	和漢朗詠集[版本]	慶安2年(1649)	久世コレクション	令和4年寄贈
68	井蛙抄[版本]	慶安元年(1648)	久世コレクション	令和4年寄贈
69	日本山海名産図会[版本]	寛政11年(1799)	久世コレクション	令和4年寄贈
70	和名類聚抄[版本]	江戸中期	久世コレクション	令和4年寄贈

能登の景観

番号	資料名	年代	作者	新収藏品
71	能登名跡志	江戸時代写 原本は安永6年(1777)成立	太田頼資	令和4年購入
72	恋路浜より蛸島迄之惣図・三崎高勝寺高座山大宮司等惣図	江戸時代		令和3年購入
73	能登名跡図	江戸時代後期		
74	能登国自三崎至今浜道筋絵図	江戸時代後期		
75	能登外浦海岸風景図	江戸時代	狩野即誉力	

海運・舟運

番号	資料名	年代	備考	新収藏品
76	蒔絵硯箱「和歌の浦芦」	江戸後期		令和3年寄贈
77	蒔絵硯蓋	江戸後期		
78	気圧計	19世紀後半		
79	海図159 日御碕至猿山岬	昭和9年(1934)		令和3年寄贈
80	海図179 九州北部下関海峡至平戸瀬戸	昭和8年(1933)		令和3年寄贈
81	八紘丸設計図〔側面・平面図〕	大正～昭和初期		令和3年寄贈
82	八紘丸設計図〔中央横断面図〕	大正～昭和初期		令和3年寄贈
83	善栄丸設計図〔側面・平面図〕	大正～昭和初期		令和3年寄贈
84	宮坂丸設計図〔側面・平面図〕	大正～昭和初期		令和3年寄贈
85	海図箱〔附 樺太北部・樺太南部・北洲及千島列島海図〕	明治～昭和初期	川端家資料	令和4年寄贈
86	和磁石	江戸～明治	川端家資料	令和4年寄贈
87	金札入箱〔開運丸甚作持用〕	明治～昭和初期	川端家資料	令和4年寄贈
88	御往来手形箱〔開運丸甚作〕	明治～昭和初期	川端家資料	令和4年寄贈

獅子頭

番号	資料名	年代	備考	新収藏品
89	獅子具	天保5年(1834)製作		令和4年寄贈
90	先触れ面	天保5年(1835)製作		令和4年寄贈

菓子型

番号	資料名	年代	備考	新収藏品
91	金花草木型	昭和前期～昭和57年(1982)まで使用		令和4年寄贈
92	金花草木型	昭和前期～昭和57年(1982)まで使用		

石川県工業学校関係資料

番号	作品名	年代	備考(作者)	新収藏品
93	関羽之図	明治時代	納富介次郎	令和3年寄贈
94	書「貨悪棄其地 不必蔵己 力悪不出其身也 不必為己」	昭和4年(1929)頃	宮崎豊次	
95	謡曲兼六園	明治38年(1905)	福島杏山作・宮崎豊次跋	
96	上絵組皿	明治20年代	友田安清	令和3年寄贈
97	木彫皿(組皿)	明治38年(1905)頃	村上九郎作	令和3年寄贈
98	写生帖	明治24～25年(1891～1892)	鈴木華邨旧蔵資料	令和3年購入
99	日記	明治32年(1899)1～3月	鈴木華邨旧蔵資料	令和3年購入
100	写生帖	明治39年(1906)頃	鈴木華邨旧蔵資料	令和3年購入
101	會信旅行記	明治40～41年(1907～1908)	鈴木華邨旧蔵資料	令和3年購入
102	草稿	明治44年(1911)頃	鈴木華邨旧蔵資料	令和3年購入
103	草稿	明治～大正時代	鈴木華邨旧蔵資料	令和3年購入
104	石川県工業学校 鈴木華邨宛 通知	明治22年(1889)12月26日	鈴木華邨旧蔵資料	令和3年購入
105	石川県工業学校書記原種徳 鈴木華邨宛 通知	明治22年(1889)12月27日	鈴木華邨旧蔵資料	令和3年購入
106	鈴木華邨宛 教員仮免許状 領収書	明治23年(1889)1月29日	鈴木華邨旧蔵資料	令和3年購入
107	富山縣工藝品陳列場標本買上品目録并代價	明治27年(1894)3月29日	鈴木華邨旧蔵資料	令和3年購入
108	富山県知事徳久恒範 鈴木華邨宛 封筒	明治27年(1894)4月20日消印	鈴木華邨旧蔵資料	令和3年購入
109	北陸新報(複製)	明治25年(1892)3月3日		
110	博物帳	明治27年(1894)	田島道忠	
111	山水図	明治17年(1884)	青山觀水	
112	仲國之圖	明治時代後期	久保田米僊	令和4年寄贈
113	平家物語 卷六「小督」	江戸時代		令和4年寄贈
114	閣竜世界博覧会美術品画譜	明治26年～27年(1893～94)	久保田米僊	令和4年寄贈
115	日清戦闘画報	明治27年(1894)	久保田米僊	令和4年寄贈
116	雑画帖	明治時代後期～大正時代	田中一華・石川柳城	令和4年寄贈
117	孔雀文様花瓶	明治～大正時代	石野龍山	令和4年購入

石川近代美術

番号	作品名	年代	作者	新収蔵品
118	諸家貼交屏風	昭和2年～6年(1927～31)	玉井紅嶺・玉井敬泉・紺谷光俊・安井雪光ほか	令和4年寄贈
119	朱竹自画賛	昭和4年(1929)	大西金陽	
120	雪中喜雀	昭和初期	廣田百豊	令和4年寄贈
121	きりん置物	明治時代	山田宗美旧蔵	令和4年寄贈

農具・農機具

番号	資料名	年代	備考	新収蔵品
122	土と共に 創業65周年記念(古川農機具工業株式会社関連資料)	昭和30年代	古川農機具工業株式会社関連資料	令和4年寄贈
123	古川式スクリュートラクター L型部品価格表(古川農機具工業株式会社関連資料)	昭和30年代	古川農機具工業株式会社関連資料	令和4年寄贈
124	創業60周年(古川農機具工業株式会社関連資料)	昭和30年代	古川農機具工業株式会社関連資料	令和4年寄贈
125	古川平次郎紫綬褒章記念写真(古川農機具工業株式会社関連資料)	昭和30年代	古川農機具工業株式会社関連資料	令和4年寄贈
126	古川式双用犁	昭和前期	農具・農機具コレクション	
127	歯車型砕土機	昭和前期	農具・農機具コレクション	
128	耕耘機B型[FURUKAWA SCREW POWER TILLER](写真)	昭和27年(1952)	農具・農機具コレクション	

美人絵葉書

番号	資料名	年代	備考	新収蔵品
129	北國夕刊新聞附録 当選十美人	大正期		令和3年購入
130	「政教新聞当撰高点十二美人」絵葉書	明治40年代		令和3年購入

染織品

番号	資料名	年代	備考	新収蔵品
131	神功皇后・武内宿禰図袱紗	明治時代		
132	御殿御庭文様打掛	大正時代	婚礼関係資料	令和4年寄贈
133	諫鼓鶏文様打掛	昭和9年(1934)頃	婚礼関係資料	令和4年寄贈
134	絵巻に小槌文様袱紗	昭和9年(1934)頃	婚礼関係資料	令和4年寄贈
135	萬歳楽文様袱紗	昭和9年(1934)頃	婚礼関係資料	令和4年寄贈
136	能楽文様琴油単	昭和9年(1934)頃	婚礼関係資料	令和4年寄贈
137	牡丹菊蘭文様鏡台掛け	昭和9年(1934)頃	婚礼関係資料	令和4年寄贈
138	染分紬地風呂敷	昭和9年(1934)頃	婚礼関係資料	令和4年寄贈
139	重座布団	昭和9年(1934)頃	婚礼関係資料	令和4年寄贈
140	花車に唐子文様暖簾	昭和9年(1934)頃	婚礼関係資料	令和4年寄贈
141	婚礼用重箱	昭和初期		
142	押絵熨斗飾り	昭和9年(1934)頃	婚礼関係資料	令和4年寄贈
143	押絵熨斗飾り	明治43(1910)年頃		
144	結婚式写真帖	大正時代		
145	雅楽文様振袖(附:几帳に桐菊文様丸帯)	大正末期		令和4年寄贈

天神堂

番号	資料名	年代	備考	新収蔵品
146	天神堂	昭和24年～令和4年		令和4年寄贈

加賀の製茶

番号	資料名	年代	備考	新収蔵品
147	茶もみ板	2008年頃まで使用		令和4年寄贈
148	民家検労図 中巻	天保6年(1835)頃	後藤家文書	
149	加越能名物産物番付	文久元年(1861)		

スポット展示

※開催なし

他団体主催の展覧会

◆特別展示室・企画展示室

催事名 連載30周年記念 地上最強刃牙展ッ！in 金沢
主催 テレビ金沢、ブレイン
後援 石川県、北國新聞社、国際空手道連盟 極真会館石川支部
企画 連載30周年記念 地上最強刃牙展ッ！巡回プロジェクト委員会
原作 板垣恵介
会期 令和5年1月25日（水）～3月7日（火）
展示内容 漫画原画、カラー原画、「刃牙の家」ジオラマ展示など

2. 調査研究活動

(1) 紀要の発行

石川県立歴史博物館研究紀要 第32号 (令和5年6月発行)

[論文]

奥能登地域仏像調査報告(2)―翠雲寺・南観音院・高田寺・曹源寺― 杉崎 貴英 (帝塚山大学文学部教授)

江戸時代の廻船経営と加賀藩領内の船主たち 濱岡 伸也

北陸の蝦夷錦七條袈裟について 大井 理恵

金沢の化物屋敷―都市怪異空間の近世近代史― 大門 哲

[史料紹介]

七尾市山崎町に所在する石造物について 野村 将之

長家中清水家文書「嘉永五壬子入払帳」について
―祐筆の家計簿にみる金沢城下の暮らし― 吉田 朋生

館蔵「能登名跡図巻」に関する覚書 中村 真菜美

(2) 石川の歴史遺産セミナー

博物館活動の充実を図るため、県内外の研究機関並びに研究者の協力を得ながら、当地の新しい歴史像の創造に寄与できる歴史的課題に取り組み、公立博物館としての専門性と情報発信機能を強化するとともに、地域の人々が身近な地域遺産に学び、自発的で豊かな文化活動が展開できるよう文化力向上を図る。

R4年度 ※今年度よりリレー講義形式を採用した

第35回石川の歴史遺産セミナー

テーマ：「近代石川の工芸教育」(於：当館ワークショップルーム)

令和4年7月31日(日) 13:30～15:00 参加者：22名

「輪島における工芸指導と産地の発展」 石川県輪島漆芸美術館主任学芸員 寺尾 藍子 氏

令和4年8月7日(日) 13:30～15:00 参加者：22名

「板谷波山とアール・ヌーヴォー、実験場としての石川県立工業学校」

東京国立近代美術館主任研究員 花井 久穂 氏

第36回石川の歴史遺産セミナー

テーマ：「はじめてふれるアイヌ文化」(於：当館ワークショップルーム)

令和4年11月13日(日) 10:30～12:00 参加者：48名

「アイヌの海神信仰と神話」 北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授 北原 モコットウナシ 氏

令和4年11月13日(日) 13:30～15:00 参加者 41名

「アイヌ工芸の過去・現在・未来」 北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授 山崎 幸治 氏

(3) 国際交流事業

韓国国立全州博物館との交流

大韓民国国立全州博物館と当館が平成3年1月15日に締結した姉妹館協約に基づき、両館の学術的、文化的交流と親善、ならびに環日本海文化の共同研究を目的として交流員を相互派遣し、交流記念展についての打ち合わせや、専門分野に関連した文化施設、史跡などの視察を行う。

本年度はコロナ感染拡大をうけ予定の事業を中止した。

3. 資料収集保存活動

(1) 収集資料一覧

令和4年度

購入資料(受入順)

	分類	資料名称	点数	年代
1	美術品	THE NEW FAR EAST (『新しい極東』)	1	明治31年(1898)
2	美術品	JAPANESE JINGLES (『日本の小唄』)	1	明治24年(1891)
3	美術品	DICHTERGRÜSSE AUS DEM OSTEN (『東の国からの詩の挨拶』英語版)	1	明治29年(1896)
4	美術品	DICHTERGRÜSSE AUS DEM OSTEN (『東の国からの詩の挨拶』独語版)	1	明治37年(1904)
5	美術品	鈴木華邨筆「紫式部」	1	大正2年(1913)頃
6	美術品	鈴木華邨筆「松蔦之図」	1	明治30年代(1897～1906)

計6件6点

寄附資料(受入順)

	分類	資料名称	点数	年代
1	歴史資料	才紀家文書	14	江戸時代後期
2	歴史資料	ビラ・チラシ収集資料	224	明治後期～昭和初期
3	民俗資料	天神堂	1	昭和24年
4	歴史資料	薬舗「蔵回生堂」関係資料	33	明治～大正期
5	歴史資料	神農図	1	江戸後期
6	歴史資料	古川農機具工業株式会社関連資料	8	昭和30年代
7	歴史資料	堅町獅子舞写真	12	昭和20年代、昭和52年(1977)
8	民俗資料	獅子具	1式	天保5年(1834)
9	歴史資料	山刀(銘 清光)	1	江戸時代末期
10	歴史資料	西村松太郎収集資料	18	明治～昭和期
11	歴史資料	近代教育関係資料	42	明治～昭和期
12	民俗資料	金花糖木型	51	昭和前期～昭和59年(1984)
13	美術品	赤絵金彩壺	1	明治時代
14	民俗資料	婚礼関係資料	21	明治30年代～昭和9年(1934)
15	民俗資料	郷土玩具	3	昭和30～40年代
16	民俗資料	松に旭日図屏風	1	昭和時代
17	美術品	諸家貼交屏風	1	昭和2年～6年(1927～1931)
18	美術品	猩々図 額	1	江戸時代中期
19	民俗資料	大黒図 額	1	明治時代
20	歴史資料	皆川淇園 書	1	江戸時代中期
21	美術品	諸家 色紙・短冊・扇面	29	江戸時代
22	歴史資料	容斎歴史画譜	1	江戸時代
23	民俗資料	廣瀬印房看板	1	大正～昭和(20世紀前半)
24	民俗資料	観廣堂看板	1	明治初期(19世紀後半)
25	民俗資料	観廣堂書額	1	明治16年(1883)
26	民俗資料	印章 附 篆刻台・小古印材	1	明治初期(19世紀後半)
27	歴史資料	前田齐泰書幅	1	明治初期
28	歴史資料	前田利鬯書幅	1	明治後期～昭和初期

(2) 資料の保存

◆ガス燻蒸消毒／防虫処理作業

平成18年度から、従来のガス燻蒸を中止し、特殊テントの中に炭酸ガス（二酸化炭素＝CO₂）を2～3週間充填し、酸欠による窒息で殺虫を行う方式に改めた。これまで実施してきた館内定点モニタリングと清掃作業の成果により、人体や環境への影響が懸念される化学薬品への依存を最小限にとどめるものである。また、害虫の侵入しやすい経路に対して薬剤散布による予防や、館内定点モニタリングの継続・実施により、虫菌類被害の予防に努めている。なお平成27年度より石川県立能登高等学校柳田校舎内の体育館を外部収蔵庫とし、環境調査を行っている。

(炭酸ガス殺虫)

- ① 作業概要 床面積4m×4mに高さ2mの32m³の容量を持つテントに炭酸ガス(CO₂)を充填し、殺虫処理を行う。
- ② 作業の実施 令和4年度は1回実施(6月21日～7月5日)。作業期間は15日間、使用炭酸ガス量は50kg。

(環境調査モニタリング)

① 本館

- (ア)実施場所 第1～3棟の収蔵室と展示室、および正面受付と各棟出入口
- (イ)調査方法
 - I. 害虫調査 調査区域に害虫捕獲用シートを設置し、2～3週間後に回収する。また、各室の埃を採取する。
 - II. 菌類調査 多孔板衝突法により浮遊菌を採取。付着菌は各室5ヶ所でCP加ポテトデキストロース寒天培地を床面にあてて採取。
 - III. 浮遊粒子調査 各室1～2ヶ所パーティクルカウンターにより空気を採取し、0.5及び5.0ミクロンの2粒子を測定する。
- (ウ)調査期間 令和4年度は年2回(6月13～27日、10月4～18日)実施
- (エ)結果報告 翌月中に調査ごとの分析結果を書面で報告。年度全体の分析から翌年度の対策計画に反映させる。

② 柳田収蔵庫

- (ア)実施場所 体育館・剣道場
- (イ)調査方法
 - I. 害虫調査 調査区域に補虫トラップを設置し、2～3週間後に回収する。また、各室の埃を採取する。
 - II. 菌類調査 エアーサンプラーにより浮遊菌を採取。付着菌は10ヶ所でCP加ポテトデキストロース寒天培地を床面にあてて採取。
 - III. 浮遊粒子調査 2ヶ所パーティクルカウンターにより空気を採取し、0.5及び5.0ミクロンの2粒子を測定する。
- (ウ)調査期間 令和4年度は年1回(10月4～18日)実施
- (エ)結果報告 翌月中に調査ごとの分析結果を書面で報告。年度全体の分析から翌年度の対策計画に反映させる。

(害虫など防除作業)

- ① 防塵用ソールマットの設置
 - ア. 設置場所 特別収蔵庫、文献図書室、古文書室、第1収蔵庫、第2収蔵庫
 - イ. 設置方法 各室入口に微粘着性ソールマット(30シート1綴り)を設置し、付着した埃や菌を吸着する。

(3) 館蔵資料分類表

(R5.3.31)

年度 資料区分		収集		令和2年度 収集資料数	令和3年度 収集資料数	令和4年度 収集資料数	資料総数
		購入	寄付				
美術	購入	0	2	5	77	32	319
	寄付	5	0				
考古	購入	0	0	0	70	0	9,132
	寄付	0	0				
歴史	購入	8	89	315	2,625	355	88,071
	寄付	315	0				
民俗	購入	0	0	141	6	83	31,522
	寄付	141	0				
自然	購入	0	0	0	0	0	92
	寄付	0	0				
模型・複製	購入	0	0	0	0	0	229
	寄付	0	0				
視聴覚	購入	0	0	0	0	0	236
	寄付	0	0				
図書	購入	0	0	1,225	1,254	1,080	2,094 66,009
	寄付	1,225	0				
合計		1,694	4,123			1,557	197,704

(4)貸与資料一覧

貸与先	資料名	目的	期間
石川四高記念文化交流館	四高関係資料 115点	石川四高記念文化交流館で展示するため	R4.4.1～R5.3.31
石川四高記念文化交流館	第四高等学校絵葉書 1組	石川四高記念文化交流館で展示するため	R4.4.1～R5.3.31
(公財)石川近代文学館	雑誌「少女の友」 28点	石川近代文学館で展示するため	R4.4.1～R5.3.31
珠洲市立珠洲焼資料館	カメワリ坂窯陶片 4箱	珠洲市立珠洲焼資料館で展示するため	R4.4.1～R5.3.31
能美ふるさとミュージアム	馬の線刻のある壺ほか 2点	能美ふるさとミュージアムで展示するため	R4.4.1～R5.3.31
金沢21世紀美術館	紅糸威仁王胸具足ほか 6点	展覧会「甲冑の解剖術―意匠とエンジニアリングの美学」で展示するため	R4.4.8～R4.7.22
白山市立千代女の里俳句館	見風「朝霞」句自画賛ほか 4点	企画展「俳諧の長者 河合見風」で展示するため	R4.8.17～R4.10.13
(公財)佐野美術館	鈴木華邨写生帖 1点	展覧会「小原古邨 海をこえた花鳥の世界―原安三郎コレクションを中心に」で展示するため	R4.8.18～R4.11.9
石川県立美術館	前田家繁栄之図 1点	企画展「加賀宝生のすべて―能面と能装束―」で展示するため	R4.9.2～R4.11.9
小松市立博物館	流聞軒其方狂歌絵日記 2点	特別展「茶―加賀の茶道と茶業―」で展示するため	R4.9.30～R4.12.21
福井県立若狭歴史博物館	小宮山家文書 4点	特別展「中世若狭の「まち」」で展示するため	R4.10.1～R4.11.11
富山市売薬資料館	村田家文書 4点	特別展「養立湯―河童を助けて授かった薬 針原五香―」で展示するため	R4.10.7～R4.12.6
石川県銭屋五兵衛記念館	銭屋千賀愛用羽子板 1点	企画展「新収蔵展」併展「銭屋千賀(銭五翁孫)の没後160年を偲ぶ」で展示するため	R4.10.25～R5.2.5
小樽市総合博物館・公益財団法人アイヌ民族文化財団	琴平丸模型ほか 5点	アイヌ工芸品展「アトウイ―海と奏でるアイヌ文化」で展示するため	R4.11.18～R5.3.10

計14件178点

(5)写真貸与・特別利用状況

種別	点数
写真掲載・放映	137件258点(うち非館蔵品10件21点)
閲覧	8件494点(うち非館蔵品0件0点)
撮影	42件1438点(うち非館蔵品3件47点)

計187件2190点

4. 教育普及活動

(1) 一般広報

■新聞・広報誌・雑誌などへの掲載

新聞（一般記事・情報案内記事・県庁広報記事）
広報いしかわ、商工石川など県発行の広報誌
各種情報誌、タウン情報誌、歴史・美術系雑誌

■テレビ・ラジオでの広報

県広報番組、ニュース番組、情報番組

■マスコミへの情報提供

県庁文教記者クラブ加入の13社に随時情報を提供
県内放送局及び新聞社に随時情報を提供

■インターネットによる情報提供

当館ホームページ・Twitterで最新情報を公開
各種観光・イベント情報サイトへの掲載

■広報誌「石川れきはく」の発行（年4回）

県内教育委員会、県内図書館・公民館・博物館そ
の他公共施設、れきはくメイト会員

■「れきはくメイト情報」の発行（年7回）

れきはくメイト会員への各種案内

■ポスター、チラシの配布

全国の博物館・大学・研究機関、県内の教育委員
会・小中学校・図書館・公民館その他公共施設、
宿泊関係施設、県内商店街、県内市町観光関係所
管課、県内のコンビニエンスストア 他

■学校向けちらしの作成・配布

石川県立美術館等と北陸三県の小中学校等に案内
パンフレットを郵送

■新聞広告

(2) 出版

■機関誌「石川れきはく」 規格:A4 頁数:8 ページ 発行部数:1,100 部

令和4年度はNo.138～141を発行し、関係機関やれきはくメイト(友の会)等に配布した。



138号



139号



140号



141号

(3) 案内解説・レファレンス・外国語対応

①案内解説

案内解説を希望する団体へは、見学前に解説員が館概要と見どころを説明している（予約制）。また学校
団体入館者向けに、展示室で利用できるワークシート「いしかわれきはくガイド」（ホームページからダウ
ンロード可）を配布していたが、令和2年度より引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展示
室での利用は禁止した。

個人に対しては音声ガイド*（無料）を勧めていたが、令和2年度より引き続き新型コロナウイルス感染
拡大防止のため休止した。

*音声ガイド…4か国語（日本語・英語・中国語・韓国語）対応、資料60点分の解説を収録
1点あたり約3分、全3時間

②レファレンス

専門的な内容の案内、および学術関係の問い合わせには学芸員が対応している。

③外国語対応

常設展示室のパネルの解説は、コーナー名称は4か国語（日本語・英語・中国語・韓国語）で示してい
る。コーナーの解説文・資料名は2か国語（日本語・英語）のみであるため、音声ガイドにより外国人の
観覧者への対応をしていたが、令和2年度より引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止した。

また、インバウンド需要に対応するため、ホームページに外国語ページ（上記4か国）を追加し、公開
している。

(4) 講座

れきはくゼミナール

れきはくゼミナールを次のように開催した。

1. 対象・定員 どなたでも 定員 50 名
2. 開催期日 月 1 回程度 土曜日(全 11 回)
13:30～15:00
3. 受講料 無料
4. 会場 当館ワークショップルーム
5. 講師 当館学芸員
6. 内容 別表のとおり

No	開催日	テーマ	担当者	参加者
1	5月21日	未定	-	中止
2	6月18日	中世霊場の一形態 - 輪島市・岩倉寺を中心に -	岡崎 道子	19名
3	7月16日	香林坊150年史 - 大神宮・盛り場・闇市 -	大門 哲	31名
4	8月20日	納富介次郎とデザイン思想	鶴野 俊哉	25名
5	9月17日	越と出雲の古代史	三浦 俊明	23名
6	10月15日	北陸とアイヌの文化交渉	吉田 朋生	38名
7	11月19日	再興九谷にみる19世紀の産業振興	野村 将之	17名
8	12月17日	北陸にもたらされた「蝦夷錦」	大井 理恵	14名
9	1月21日	加賀藩主 前田治脩	濱岡 伸也	46名
10	2月18日	加賀藩の藩校とその教育	中村 賢一	31名
11	3月18日	鈴木華歌と北陸 - 旧蔵資料の収蔵を契機に -	中村 真菜美	26名



令和4年度 第5回 れきはくゼミナール

いしかわ歴史講座

常設展の内容を中心とした講座を次のように開催した。

1. 対象・定員 どなたでも 定員 50 名
2. 開催期日 11月～2月 金曜日(全 11 回)
13:30～15:00
3. 受講料 無料
4. 会場 当館ワークショップルーム
5. 講師 当館学芸員
6. 内容 別表のとおり

No	開催日	テーマ	担当者	参加者
1	11月4日	縄文ムラ・水辺のなりわい	野村 将之	22名
2	11月11日	渤海使と古代の加賀・能登	三浦 俊明	25名
3	11月18日	中世いしかわの信仰世界	岡崎 道子	26名
4	11月25日	改作法下の武士と農村	濱岡 伸也	28名
5	12月16日	金沢城の絵師たち	中村 真菜美	29名
6	12月23日	加賀藩における学問と教育	中村 賢一	7名
7	1月6日	北前船と加賀・能登	吉田 朋生	37名
8	1月13日	明治維新と武士の近代	石田 健	42名
9	1月20日	石川の近代工芸	鶴野 俊哉	17名
10	1月27日	曳山・燈籠・獅子舞 - いしかわの祭礼風流 -	大井 理恵	12名
11	2月3日	神々をもてなす - 石川の神饌文化と来訪神行事 -	大門 哲	25名



令和4年度 第1回 いしかわ歴史講座

古文書講座

古文書の読み方や内容を分かりやすく解説する講座を、前期と後期の2回実施した。

	開催日	テーマ	担当者
前期	5月18日	江戸時代の恋路町に住んでみる？	濱岡 伸也
	6月8日		
	7月13日		
	8月10日		
中期	10月6日	能登天領の暮らし	吉田 朋生
	11月10日		
	12月15日		
後期	2月8日	祐筆役・清水家の暮らし - 武士の日記・家計簿 -	吉田 朋生
	2月22日		



令和4年度 古文書講座 (後期 第1回)

(5) 博学連携事業

◆学習用資料貸出事業

歴史をより身近に感じてもらうため、学校や教育関係機関に当館所蔵のレプリカ資料を貸し出している。
令和4年度は貸出依頼がなかったため、実施せず。

◆職場体験事業受け入れ事業

職場体験（中学生）

令和4年度は申込がなかったため、実施せず。

インターンシップ

学校名	期間	参加者
金沢大学	8月25日（木）	4名
金沢工業大学	8月25日（木）	1名
金沢学院大学	8月25日（木）	1名
中京大学	8月25日（木）	2名

(6) ワークショップ（無料/一部を除いて事前申込制）

	実施日	テーマ	参加者
1	令和4年7月30日（土）	染織講習会「友禅藍染のハンカチをつくってみよう」	28名
2	令和4年8月6日（土）	加賀刺繍講習会「藍染ハンカチに加賀刺繍をしてみよう」	25名
3	令和4年9月24日（土） 10月10日（月） 10月29日（土）	アザラシじょうずに獲れるかな？	計70名
4	令和4年10月29日（土）	アイヌ刺繍でオリジナルTシャツづくり	計22名

(7) 博物館実習

期間

令和4年8月17日(水)～8月24日(水)

実習生

金沢学院大学	文学部文学科	3人
京都府立大学	文学部歴史学科	1人
龍谷大学	文学部歴史学科	1人
東京都立大学	人文社会学部人間社会学科	1人
立命館大学	文学部人文学科	1人
新潟大学	人文学部	2人
日本女子大学	文学部史学科	1人
		合計 10人



月日	時間	実習内容
8月17日 (水)	9:30～9:40	開講式
	9:40～10:20	オリエンテーション
	10:30～12:00	歴史博物館の使命と業務
	13:00～14:20	館内施設見学
	14:30～16:00	博物館の教育普及活動
		実習ノート作成
8月18日 (木)	9:00～10:40	博物館の文化財保存環境
	10:50～12:00	博物館資料の保存修復
	13:00～16:00	展示評価実習
	16:00～17:00	実習ノート作成
8月19日 (金)	9:00～12:00	歴史資料の取り扱い実習
	13:00～16:00	資料梱包実習
	16:00～17:00	実習ノート作成
8月22日 (月)	9:30～12:00	民俗資料の取り扱い実習
	13:00～16:00	考古資料の取り扱い実習
	16:00～17:00	実習ノート作成
8月23日 (火)	9:30～12:00	美術資料の取り扱い実習
	13:00～16:00	写真撮影実習
	16:00～17:00	実習ノート作成
8月24日 (水)	9:30～12:00	資料整理実習
	13:00～15:00	展示評価実習
	15:10～16:00	質疑応答・総評・閉講式
	16:00～17:00	実習ノート作成

(8) れきはくメイトの運営

令和4年度 会員年齢構成

年齢層	合計	%
	人	%
～10代	0	0
20代	3	1.9
30代	2	1.3
40代	5	3.2
50代	17	10.8
60代	35	22.3
70代	66	42.0
80代	26	16.6
90代～	2	1.3
不明	1	0.6
合計	157人	100.0%

会員住居地区別構成

地区名	人数	地区名	人数	地区名	人数
(県内)		羽咋市	1	(県外)	
金沢市	112	七尾市	0	富山県	4
加賀市	1	中能登町	1	福井県	1
小松市	5	能登町	2	愛知県	1
白山市	14	輪島市	1	埼玉県	1
能美市	1	珠洲市	0	福島県	1
川北町	0	志賀町	0		
野々市市	2	穴水町	0		
内灘町	1			県外	
津幡町	4	県内		(小計)	8
かほく市	2	(小計)	149	(小計)	
宝達志水町	2			総計	157

れきはくメイト情報の発行

号数	発行日	主な内容
223号	4月21日	・春季特別展「大加州刀展」 ・刀工や流派の紹介
224号	5月23日	・初夏の歴史散歩 ・新しい学芸員紹介 ・春季特別展「大加州刀展」後期展示
225号	7月8日	・夏季特別展「工芸教育の精華」 ・夜間開館のお知らせ
226号	9月1日	・秋季特別展「アトウイ」 ・初夏の歴史散歩レポート
227号	9月17日	・秋の歴史散歩 ・れきはくこぼれ話
228号	12月2日	・企画展「れきはくコレクション 2021・2022」 ・秋の歴史散歩レポート
229号	12月23日	・巡回展「バキ展 in 金沢」 ・後期古文書講座
230号	1月30日	・Twitter好評ツイート ・おすすめ図書

メイト情報 223号

れきはくメイト情報 NO.223

令和4年度 春季特別展 大加州刀展

本誌では、刀工や流派の紹介、初夏の歴史散歩、新しい学芸員紹介、春季特別展「大加州刀展」後期展示、夏季特別展「工芸教育の精華」、夜間開館のお知らせ、秋季特別展「アトウイ」、初夏の歴史散歩レポート、秋の歴史散歩、れきはくこぼれ話、企画展「れきはくコレクション 2021・2022」、秋の歴史散歩レポート、巡回展「バキ展 in 金沢」、後期古文書講座、Twitter好評ツイート、おすすめ図書などを掲載しています。

発行日：2022年4月21日

発行所：れきはくメイト編集部

〒920-0001 石川県金沢市本町1-1-1

TEL: 076-233-1111

FAX: 076-233-1112

ホームページ: www.rekibaku.com

れきはくメイト会員限定イベント

① 6月16日 初夏の歴史散歩「加州刀工ゆかりの地、鍛冶町周辺を歩く」

担当：当館学芸員

講師：当館学芸員・安江八幡宮宮司・久昌寺住職

参加料：100円（保険料、資料代）

行程：此花緑地－旧鍛冶町－安江八幡宮－久昌寺

② 10月26日 秋の歴史散歩「武士のまち長町・長土堀・玉川町を歩く」

担当：当館学芸員

講師：当館学芸員

参加料：300円（保険料、資料代）

行程：旧加賀藩士高田家跡－貴船明神－村井家上屋敷跡－長家屋敷跡－今枝仁王尊

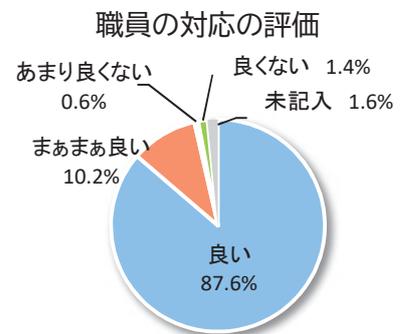
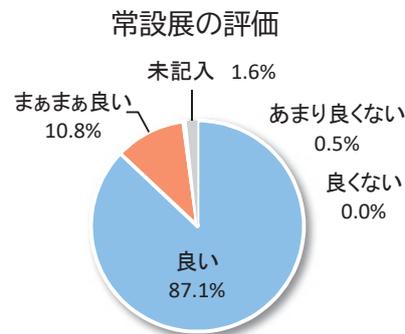
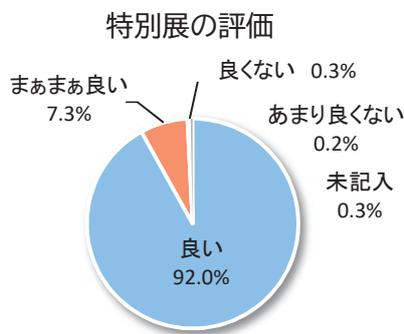
(9) れきはくボランティア

市民の交流や協働、生涯学習の場として開かれた博物館を目指し、平成18年度より学校団体見学が増加する春季・秋季にそれぞれ募集し、「歴史体験ひろば」内で主に小・中学生を対象に解説、体験学習の補助を行ってきた。令和2年度より引き続き、「歴史体験ひろば」の閉室および新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から活動を中止した。

(10) 入館者調査(アンケート)

年間を通し、アンケート用紙に記入する方式で、来館者調査を行った。来館者に展覧会および博物館の評価と、来館者の情報を記入してもらった。評価は良い、まあまあ良い、あまり良くない、良くない の選択式と自由記述により、特別展の開催期間中は特別展と常設展について、それ以外の期間は常設展のみについて回答してもらった。下はその評価と、回答者の居住地を表・グラフにしたものである。

特別展の評価	良い		まあまあ良い		あまり良くない		良くない		未記入		回答数(%)	
春季特別展	543	94.3%	32	5.6%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	576	100.0%
夏季特別展	11	64.7%	6	35.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	17	100.0%
秋季特別展	40	75.5%	9	17.0%	0	0.0%	2	3.8%	2	3.8%	53	100.0%
計(%)	594	92.0%	47	7.3%	1	0.2%	2	0.3%	2	0.3%	646	100.0%
常設展の評価	822	87.1%	102	10.8%	5	0.5%	0	0.0%	15	1.6%	944	100.0%
職員の対応の評価	821	87.6%	96	10.2%	6	0.6%	1	0.1%	13	1.4%	937	100.0%

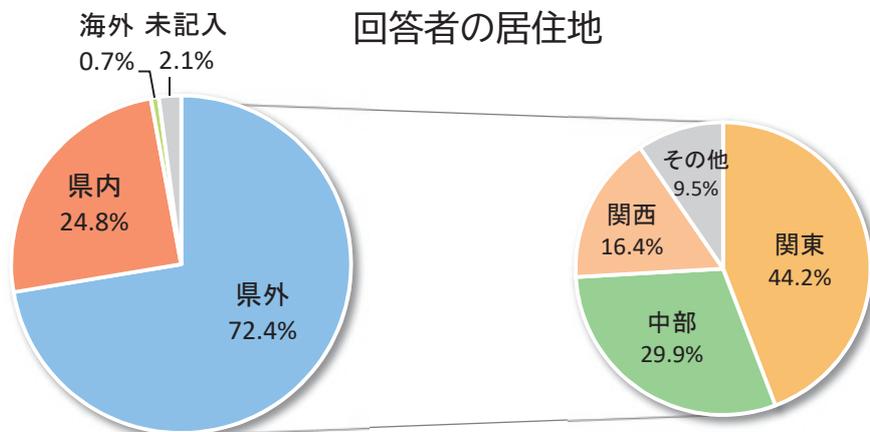


回答者の居住地

	数	%
県外	683	72.4%
県内	234	24.8%
海外	7	0.7%
未記入	20	2.1%
計	944	100.0%

県外居住者の内訳

	関東	中部	関西	その他	合計
数	302	204	112	65	683
%	44.2%	29.9%	16.4%	9.5%	100.0%



5. 入館者状況

(1)令和4年度 いしかわ赤レンガミュージアム(歴史博物館・加賀本多博物館)入館者状況

歴史博物館

	有料						無料			小計	合計 (カウンター数)
	常設展			特別展	計	常設展	特別展	計			
	歴博単独券	本多共通券	計								
4月	572	653	1,225	春	936	2,161	896	132	1,028	3,189	10,448
5月	644	617	1,261		7,848	9,109	2,111	1,268	3,379	12,488	23,368
6月	433	346	779		5,627	6,406	1,829	1,118	2,947	9,353	18,726
7月	597	961	1,558	夏	233	1,791	968	146	1,114	2,905	8,051
8月	768	1,184	1,952		860	2,812	1,523	584	2,107	4,919	10,717
9月	819	1,178	1,997	秋	384	2,381	1,431	388	1,819	4,200	10,260
10月	802	960	1,762		1,385	3,147	5,058	1,555	6,613	9,760	15,284
11月	798	1,283	2,081		1,207	3,288	3,775	970	4,745	8,033	13,548
12月	798	836	1,634		0	1,634	731	0	731	2,365	6,244
1月	501	569	1,070		0	1,070	702	0	702	1,772	7,955
2月	858	940	1,798		0	1,798	838	0	838	2,636	15,632
3月	1,293	1,653	2,946		0	2,946	1,275	0	1,275	4,221	14,116
年計	8,883	11,180	20,063		18,480	38,543	21,137	6,161	27,298	65,841	154,349

歴史博物館 特別展のみ入場内訳

特別展名	有料	無料	特別展計
春季特別展	14,411	2,518	16,929
夏季特別展	1,093	730	1,823
秋季特別展	2,976	2,913	5,889
計	18,480	6,161	24,641

(2) 小・中・高等学校地区別入館者数

※個人を含む

地区	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計 人	入館者の割合 %
	校	人	校	人	校	人	校	人		
加賀地区(野々市市・白山市以南)	49	2,320	3	97	0	25	0	0	2,442	27
金沢	16	1,407	6	174	2	113	0	0	1,694	19
能登地区(河北郡以北)	10	528	3	56	0	11	0	0	595	7
富山県	22	1,296	20	607	0	14	1	19	1,936	22
福井県	0	10	5	141	0	2	0	0	153	2
その他	1	535	18	1,058	3	456	2	31	2,080	23
合計	98	6,096	55	2,133	5	621	3	50	8,900	100

Ⅱ. 施設概要

1. 設備概要

●受変電設備	受電電圧 6.6kV 変圧器容量 800kVA
●発電機設備	ディーゼル機関 1800mi ⁻¹ 発電機 300kVA 3相交流
●蓄電池設備	ベント型効率放電用ペースト式 据置型鉛蓄電池H-200A 54セル
●動力設備	動力設備 648kVA (一般 311kVA[エレベーター含] 24h負荷215kVA 防災負荷122kVA)
●電灯設備	照明器具 352台 (展示室内照度最高 150Lx 執務室内照度最高 750Lx)
●照明設備	展示室内 LED 、執務室・バックヤード [※] 高効率型蛍光灯・一般型蛍光灯
●構内交換設備	192回線 (局線 1回線/INS1回線/多機能28回線/内線21回線)
●放送設備	防災アンプ 480W / 3棟用アンプ 30W
●I T V設備	ネットワークカメラ 屋内40台 モニター32型
●テレビ・ラジオ共聴設備	アンテナ UHF -20EL
●来客カウンター設備	カウンター 8回線 / 3棟用 4回線 センサー 1棟4箇所 / 2棟1箇所 / 3棟1箇所(本多蔵品館1箇所)
●自動火災報知設備	GR型受信機(アナログ式、自動試験機能) 表示監視0A卓 19型TFTカラー
●給水設備	便所の便器洗浄系統……加圧給水方式 手洗い・飲料系統……市水直結方式
●給湯設備	電気温水器による局所方式
●排水設備	建物内分流方式、公共下水道放流
●消火設備	屋内消火栓……第一棟、第二棟 ハロゲン消火……第二棟の特別収蔵室、古文書室 スプリンクラー……第三棟
●排煙設備	機械排煙……第一棟、第二棟、第三棟 (3系統)
●融雪設備	井水散水方式、電熱線方式
●昇降機設備	第一棟……機械室レス、身障者用、13人乗り 第一棟、第二棟……油圧式、荷物・身障者併用、2.1t (2基) 第三棟……小型機械室レス、4人乗り
●空調設備	保存空調条件 Aランク収蔵 ・収蔵庫 21±1℃ RH55±5% ・企画展示室、特別展示室 21±1℃ RH60±5% 季節展示物による 空調方式 Aランク保存展示系統 ・変風量単一ダクト方式 ・第1棟. . . 企画展示室、特別展示室 ・第2棟. . . 収蔵庫 ・第3棟. . . 収蔵庫 一般系統 ・第1棟. . . ファンコイル外気処理併用方式

- ・第2棟. . . ファンコイル外気処理併用方式・変風量単一ダクト方式
- ・第3棟. . . ファンコイル外気処理併用方式・変風量単一ダクト方式
- ・渡り廊下(ほっとサロンを含む)
空冷ヒートポンプ・ペリメーター電気ヒーター・床暖房併用方式

熱源

- ・Aランク保存展示系統 (冷水+温水 . . . 蓄冷+蓄暖)
水冷モジュールチラー-264KW ×2モジュール
無圧温水ヒーター-116KW ×2モジュール都市ガス仕様
冷水槽56m³・温水槽84m³
- ・一般系統 (冷温水 . . . 密閉)
冷温水発生機150RT(50×3) 527KW 都市ガス仕様
- ・一般系統 (空冷ヒートポンプ エアコン)
空冷ビル用マルチエアコン 冷房能力165KW/暖房能力183KW
空冷パッケージエアコン 冷房能力10KW/暖房能力11.2KW

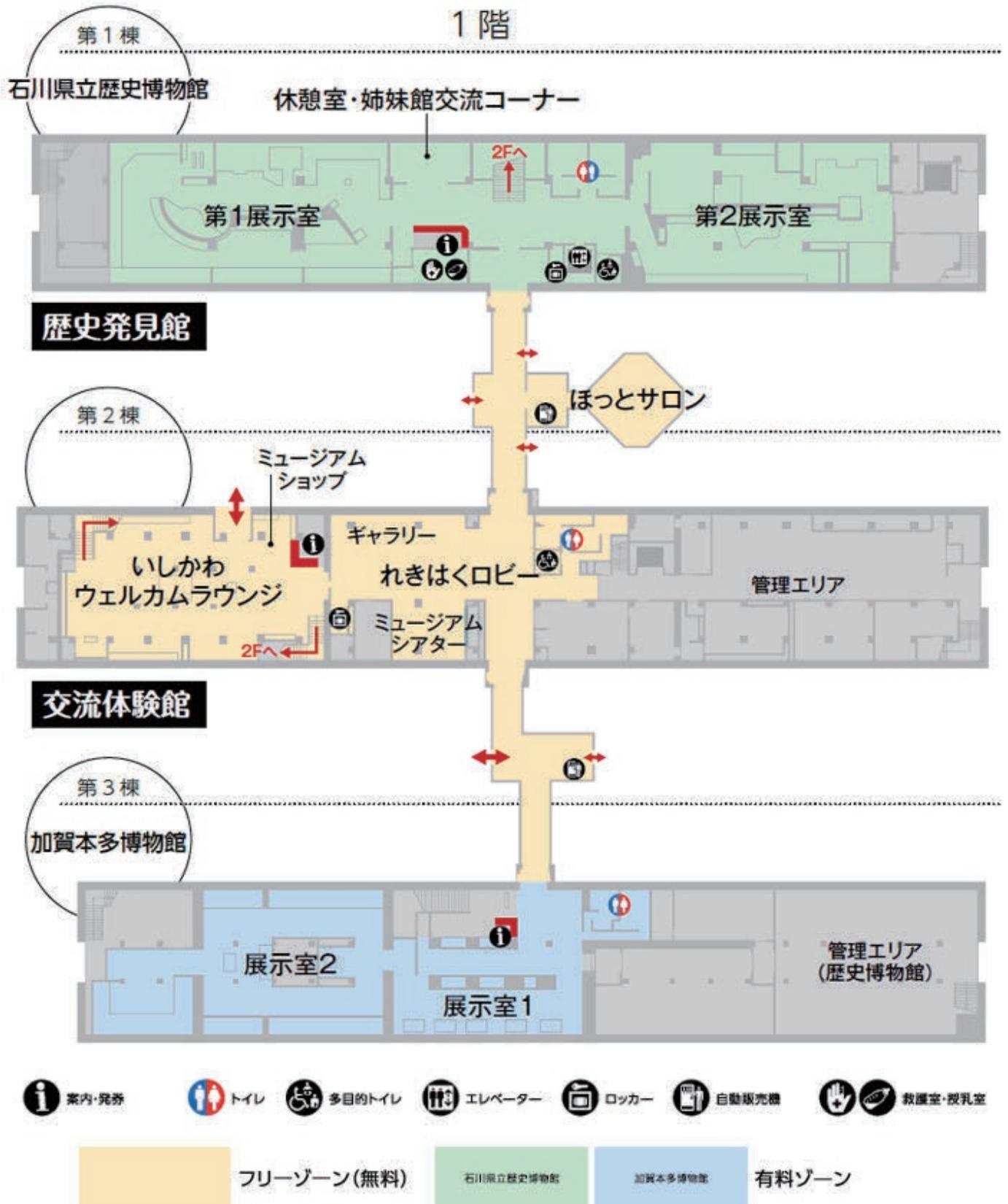
2. 各棟室面積一覧

2015/6/11

管轄	部門	階別	展示室		収蔵スペース		共用区分		機械室分		計	
			室名	面積(m ²)	室名	面積(m ²)	室名	面積(m ²)	室名	面積(m ²)	階別	延べ
歴博	第一棟	1階	常設展示室1	396.19	第一倉庫	13.12	ほっとサロン	65.06	空調機械室1	34.92	1480.55	2767.83
			常設展示室2	364.21			渡り廊下1	99.18	空調機械室2	50.35		
							ホール	121.69	ファンルーム	11.47		
							その他	307.71	EV機械室	16.66		
			計	760.40	計	13.12	計	593.64	計	113.40		
		2階	企画展示室	274.42	第二倉庫	13.12	ホール	135.64	空調機械室3	37.23	1287.28	
			企画展示室準備室	114.20	第三倉庫	17.85	その他	162.28	サーバールーム1	5.95		
			特別展示室	409.63	第四倉庫	6.01			サーバールーム2	2.99		
			特別展示室準備室	44.53	第五倉庫	17.62			サーバールーム3	4.17		
			控室	19.16	機材倉庫	19.71			サーバールーム4	2.78		
	計		861.94	計	74.30	計	297.92	計	53.12			
	第二棟	1階	ISHIKAWAの活動空間	310.29	倉庫A(1F)	18.04	渡り廊下2	100.25	中央機械室	199.58	1416.77	
			れきはく(うちまぎやう)	250.57	倉庫B(1F)	7.50	館長室	51.88	受変電室	45.97		
			(うちまぎやう)	(76.22)	倉庫C(1F)	6.50	副館長室	28.51	発電室	39.32		
			(うちまぎやう)	(45.77)	倉庫D(1F)	1.62	事務室	51.20	サーバールーム	14.47		
							警備室	17.46	消火ポンプ室	9.97		
							その他	250.17	EV機械室	13.48		
			計	560.86	計	33.66	計	499.46	計	322.79		
			2階	歴史体験広場(多目的ホール)	171.20	特別収蔵室	160.39	研究室	115.47	ファンルーム		13.31
		情報コーナー		93.96	古文書室	54.46	閲覧室	19.40				
		ワークショップスペース		146.81	文献図書室	49.02	解説員室	56.23				
					フィルム保管室	29.71	ボランティア室	18.37				
					倉庫A(2F)	21.78	その他	319.23				
		計		411.97	計	351.01	計	528.70	計	13.31		
第三棟		1階			第1収蔵室	152.34	その他	60.23	機械室1	52.66	602.56	
				第2収蔵室(1階)	270.57			機械室2	55.14			
								ボランティア室	11.63			
	計	0.00	計	422.91	計	60.23	計	119.42				
	2階			第2収蔵室(2階)	529.06	その他	20.84			549.90		
計	0.00	計	529.06	計	20.84	計	0.00					
本多藏品館	第三棟	1階	本多藏品館展示室1	266.57			その他	45.83			646.52	
			本多藏品館展示室2	334.11								
			計	600.69	計	0.00	計	45.83	計	0.00		
	2階	準備室	90.23	本多藏品館収蔵室	153.93	事務室	28.52				450.81	
						会議室	78.18					
計	90.23	計	153.93	計	206.65	計	0.00					
クリスタル		1階				6.90						
合計			展示合計	3286.08	収蔵合計	1577.99	共用合計	2253.27	機械合計	622.05	7746.28	

敷地面積	26791.46
------	----------

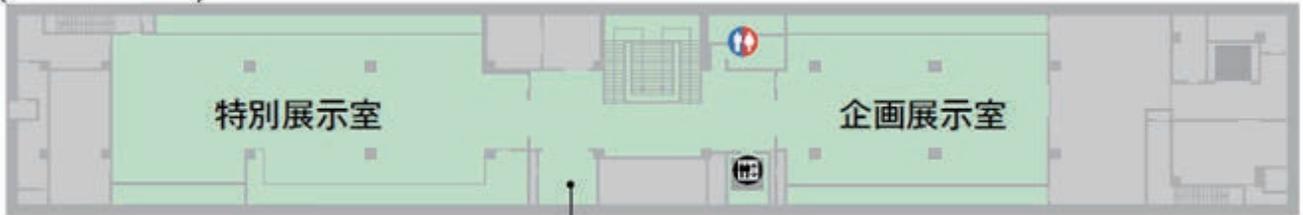
3. 館内平面図



2階

第1棟

石川県立歴史博物館



歴史発見館

休憩室

第2棟



交流体験館

第3棟

加賀本多博物館

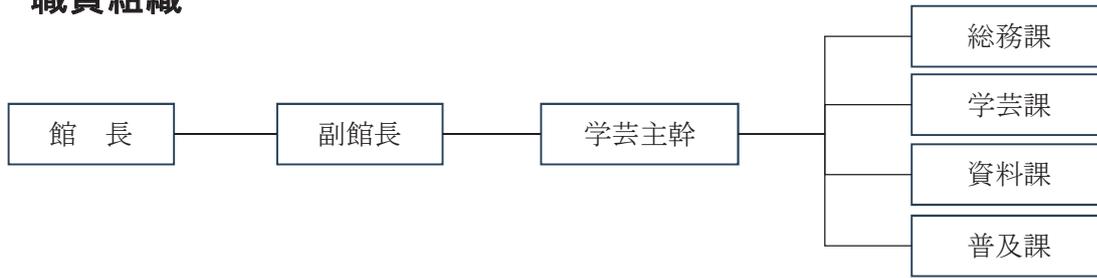


-  案内・発券
-  トイレ
-  多目的トイレ
-  エレベーター
-  ロッカー
-  自動販売機
-  授乳室
-  看護室



Ⅲ. 組織と運営

1. 職員組織



2. 職員名簿

令和4年度（令和4年4月8日現在）

館長（非常勤職員）	藤井 讓 治	資料課	課長（技術）	三浦 俊 明
副館長（"）	宮崎 良 則	学芸主任		（併）石 田 健
学芸主幹（再）（技術）	濱岡 伸 也 （兼 公園緑地課）			〔本務 教育委員会 兼 石川四高記念文化交流館〕
総務課		学芸員		野村 将 之
課長（事務）	粟 知 之	非常勤職員		片桐 佳 奈
企画管理専門員（"）	大 畠 雅 野	普及課		
企画管理専門員（"）	新 出 秋 江	課長（再）（技術）	（併）	鶴 野 俊 哉
企画管理専門員（"）	藤 永 太 郎			（本務 教育委員会）
非常勤職員	山田 ゆかり	担当課長（"）	（併）	永 井 浩
学芸課		学芸主任	（併）	中 村 賢 一
学芸主幹兼課長（技術）	（併）大 門 哲 （本務 教育委員会）	学芸主任		（本務 教育委員会）
学芸主査（"）	大 井 理 恵 （兼 白山ろく民俗資料館）	学芸主任		岡崎 道 子
学芸員	中村 真菜美 （兼 公園緑地課）	非常勤職員		北崎 美 沙 子
学芸員	吉 田 朋 生			
非常勤職員	前 多 令 子			

3. 予算及び決算

※定数内職員費を除く

（単位：千円）

事業名	令和4年度		
	当初予算額	最終予算額	決算額
運 営 費	72,840	78,888	77,761
案内解説事業費	20,712	20,712	20,500
展 示 費	41,486	36,338	35,922
調 査 普 及 費	17,428	14,408	14,001
資 料 整 備 費	1,600	1,600	1,600
国 際 交 流 費	0	0	0
施 設 整 備 費	9,598	8,763	8,763
計	163,664	160,709	158,547

4. 事務分掌

令和4年度(令和4年4月1日現在)

総務課	
1	課内事務の統括に関する事。
2	出納事務に関する事。
3	諸規定の運営に関する事。
4	防犯及び防災計画に関する事。
5	運営審議会の連絡調整に関する事。
6	他の課に属しない事務に関する事。
7	予算・決算に関する事。
8	委託等契約事務に関する事。
9	財産の維持及び管理に関する事。
10	情報政策推進員業務に関する事。
11	物品及び収入・支出経理に関する事。
12	文書管理事務に関する事。
13	公用車の運転及び整備に関する事。
14	県庁、分室及び銀行、周辺文化施設等との事務連絡に関する事。
15	職員の服務及び給与、旅費等に関する事。

学芸課	
1	学芸活動の企画・調整に関する事。
2	姉妹館との交流及び協力並びに展示・共同研究に関する事。
3	常設展の調整・改善に関する事。
4	特別展及び企画展の企画・調整に関する事。
5	展示室の視聴覚機械の保守・管理に関する事。
6	石川の歴史遺産セミナーに関する事。
7	紀要の作成に関する事。
8	貸館の企画・調整に関する事。
9	寄贈図書等の受入・整理に関する事。
10	文化財情報の収集・整理に関する事。
11	その他学芸補助に関する事。

資料課	
1	資料の調査・受入に関する事。
2	資料の保存・修理に関する事。
3	資料の複製・模型に関する事。
4	資料の貸与及び特別利用に関する事。
5	借用資料のとりまとめに関する事。
6	収蔵品の保全・管理に関する事。
7	コレクション展に関する事。
8	運営審議会・資料評価部会に関する事。
9	博物館実習に関する事。

普及課	
1	普及事業の企画・調整に関する事。
2	学校教育との連携に関する事。
3	社会教育機関との連携に関する事。
4	県民大学校に関する事。
5	ホームページに関する事。
6	広報活動の企画・実施に関する事。
7	れきはくメイトに関する事。
8	入館者の動向調査に関する事。
9	ボランティアに関する事。
10	年報・館利用案内・年間行事予定の発行に関する事。
11	石川れきはく編集・発行に関する事。
12	各種印刷物の発送に関する事。

この他、学芸関係職員はそれぞれの専門的分野を通して、関連業務および常設展、企画展、特別展等の企画、運営および特別展に関わる図録等の作成にあたることとする。

5. 入場料について

(1) 入場料の徴収(常設展)

入場料の徴収区分(歴史博物館)[常設展](平成27年4月17日より)

区 分	一般(18歳以上の者)	300円(240円)	・・・18歳未満は高校生でなくても無料である。
	大学の学生及びこれに準ずる者	240円(190円)	・・・大学生、短大生、専門学校生など学校教育法に基づき許可を受けている学校の学生。
※()は20人以上の団体料金			

(年齢不問ただし証明するものがあること)

(2) 入場料の減免基準

項 目 (減免基準)	歴史博物館	
	特別展	常設展
小学校、中学校、高等学校 及び 特別支援学校 が教育課程に基づく教育活動として入場するとき	児童・生徒	場合による
	引率者	無料
入館を予定する学校団体の教師 (下見)	無料	無料
ボーイスカウト、少年スポーツ団体、学童保育機関等の引率者及び付添者 (事前に申し出た場合に限る)	無料	無料
幼稚園、保育園等の団体の引率者	無料	無料
65歳以上の方	団体料金	団体料金 (祝日は無料)
身体障害者手帳 又は 療育手帳 又は 精神保健福祉手帳 を所持する方 又は 障がい者手帳アプリ「ミライロID」をご提示の方	無料	無料
上記1付添者(手帳所持者1人につき1名、団体の付添者は全員)	無料	無料
県内に居住する生活保護法に基づく生活扶助又は教育扶助を受けている方	無料	無料
社会福祉施設(石川県社会福祉協議会に加入している施設)の入所者、通所者	団体料金	団体料金 (祝日は無料)
上記1付添者(手帳所持者1人につき1名、団体の付添者は全員)	無料	無料
タクシー、観光バスの運転手、乗務員、添乗員 及び ボランティアガイド「まいどさん」で観覧者と同行して入場する方(通訳を含む)	無料	無料
「石川県博物館協議会 会員証」を所持する方 と 同伴者1名まで	無料	無料
「日本博物館協会 会員証」を所持する方 と 同伴者1名まで	無料	無料
KGGN(金沢グッドウィルガイドネットワーク)の身分証明書 を所持する方	無料	無料
「石川県立歴史博物館 れきはくメイト会員証」を所持する方	団体料金	無料
兼六園・文化施設共通利用券「兼六園プラス1利用券」を利用して入場する方	団体料金	無料
「文化の森おでかけパス」をご提示の方 (有効期限:1施設目利用日から2日間)	団体料金	無料
いしかわ文化の日(毎年10月の第3日曜日)に入場する石川県民 石川県民であることを証するもの(運転免許証など)をご提示の方	団体料金	無料
兼六園周辺文化の森の相互割引 対象施設(国立工芸館、石川県立美術館、いしかわ生活工芸ミュージアム、金沢21世紀美術館、 金沢市立中村記念美術館、金沢ふるさと偉人館) 主催展覧会(会期中)のチケット半券を所持する方	団体料金	団体料金
石川県立美術館、石川県立輪島漆芸美術館、石川県七尾美術館、珠洲市珠洲焼資料館 「友の会会員証」を所持する方	団体料金	団体料金
「金沢市内1日フリー乗車券」(北鉄バス)を所持、又は「のりまっし金沢」アプリ画面をご提示の方	団体料金	団体料金
金沢コンベンションビューロー指定の大会等に参加し、指定の半券を所持する方 と 同伴者1名まで	団体料金	団体料金
「金沢市文化施設共通観覧券」(1DAY、3日間、1年間パス)を所持する方	—	団体料金
「いしかわ観光旅パスポート」を所持する方	—	団体料金
「婚バス(石川しあわせ婚応援パスポート)・婚バスお試しクーポン」を所持する方	—	団体料金
「いしかわ移住パスポート(Lパス)」を所持する方 と ご家族全員	—	団体料金
「学バス(学生のまちパスポート)」を所持、 又は「かなざわ学バス」アプリ画面 及び 学生証をご提示の方	—	無料
「IJSPパス」を所持する方 ※Ishikawa Japanese Studies Program	—	無料
JAPAN TENT(ジャパンテント)の留学生・研修生の方	無料	無料
いしかわ観光特使・かなざわ縁(ゆかり)のひと に任命された方	無料	無料

※上記は、展示内容等により変更する場合があります

IV. 関係条例・規則

1. 石川県立歴史博物館条例 (昭和六十一年三月二十二日 条例第二十六号)

(設置)

第一条 地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第二百四十四条第一項の規定により、県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、石川県立歴史博物館(以下「歴史博物館」という。)を金沢市に設置する。

(事業)

第二条 歴史博物館は、郷土の歴史、民俗等に関する資料の収集、保管及び展示並びに郷土の歴史、民俗等に関する調査研究及び指導のために必要な事業を行う。

(使用料)

第三条 この条例において「使用料」とは、入場料及び施設使用料をいう。

(入場料)

第四条 知事は、展示資料を観覧するため歴史博物館へ入館する者から入場料を徴収する。

2 入場料の額は、別表第一のとおりとする。

(施設使用料)

第五条 知事は、歴史博物館の施設の使用の許可を受けた者(別表第二において「使用者」という。)から施設使用料を徴収する。

2 施設使用料の額は、別表第二のとおりとする。

(使用料の納付等)

第六条 使用料は、前納しなければならない。ただし、知事は、相当の理由があると認めるときは、使用料の全部又は一部を後納させることができる。

2 既納の使用料は、返還しない。ただし、知事が返還することを相当と認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

3 知事は、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(歴史博物館運営審議会)

第七条 博物館法(昭和二十六年法律第二百八十五号)第二十三条第一項の規定により、歴史博物館に石川県立歴史博物館運営審議会(以下「審議会」という。)を置く。

第八条 審議会は、委員二十人以内で組織する。

2 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験を有する者その他知事が歴史博物館の運営に資すると認める者のうちから、知事が任命する。

3 委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第九条 審議会に、会長及び副会長各一人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(損害賠償)

第十条 知事は、歴史博物館の施設、設備又は備品を損傷し、又は滅失した者に対して、その損害を賠償させることができる。

(規則への委任)

第十一条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

1 この条例は、規則で定める日から施行する。ただし、附則第二項の規定は昭和六十一年四月一日から施行する。

2 石川県立郷土資料館入場料条例(昭和四十三年石川県条例第三十八号)は、廃止する。

附 則(平成元年三月二十四日条例第五号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成元年四月一日から施行する。(後略)

附 則 (平成十八年六月三十日条例第二十九号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成二十七年三月二十三日条例第七号)

この条例は、平成二十七年四月十七日から施行する。

附 則 (平成三十一年三月二十日条例第三号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成三十一年十月一日から施行する。

附 則 (令和四年二月二十四日条例第三号抄)

(施行期日)

1 この条例は、令和四年四月一日から施行する。

附 則 (令和五年三月二十二日条例第五号)

この条例は、令和五年四月一日から施行する。

別表第一 (第三条関係)

1 常設展示を観覧する場合

区分	単位	金額	
		個人	団体 (二〇人以上)
一般 (十八歳以上の者)	一人につき	三〇〇円	二四〇円
大学の学生及びこれに準ずる者	一人につき	二四〇円	一九〇円

2 特別展示を観覧する場合

一、五〇〇円の範囲内で知事はその都度定める額

別表第二 (第四条関係)

1 使用者が観覧料、入場料その他これらに類する料金 (次項において「料金」という。) を徴収しない場合

区分	単位	施設使用料の額
特別展示室	一日につき	一九、二七〇円

2 使用者が料金を徴収する場合

前項の施設使用料の額に百分の百三十を乗じて得た額

3 企画展示室に係る施設使用料の額については、前二項の施設使用料の例により知事はその都度定める。

備考

1 「一日」とは、午前九時から午後五時までをいう。

2 使用時間が一日の時間に満たない場合の施設使用料の額は、当該一日の施設使用料の額とする。

2. 石川県立歴史博物館条例施行規則 (昭和六十一年十月十四日 規則第四十四号)

(趣旨)

第一条 この規則は、石川県立歴史博物館条例 (昭和六十一年石川県条例第二十六号。以下「条例」という。) の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(入場券)

第二条 条例第四条第一項の規定により入場料を徴収したとき (前納したときに限る。) は、当該被徴収者に別記様式第一号に規定する入場券を交付するものとする。

(使用料の後納)

第三条 条例第六条第一項ただし書の規定により使用料を後納させることができる場合は、次のとおりとする。

- 一 旅行業法（昭和二十七年法律第二百三十九号）第三条の規定による登録を受けた者との入場に係る契約に基づき入場させるとき。
- 二 その他石川県立歴史博物館長（以下「館長」という。）が特別の理由により必要と認めたとき。

（使用料の返還）

第四条 条例第六条第二項ただし書の規定により使用料を返還することができる場合及びその割合は、次のとおりとする。

- 一 管理上の必要により、施設の使用の許可を取り消したとき。 施設使用料の全額
 - 二 施設の使用許可を受けた者が使用開始前十日までに使用の取消しを届け出たとき。 施設使用料の百分の六十に相当する額
 - 三 その他館長が特別の理由により必要と認めたとき。 入場料又は施設使用料のうち館長が相当と認める額
- 2 前項の規定により使用料の返還を受けようとする者は、別記様式第二号に規定する使用料返還請求書に入場料の返還の場合にあつては、入場券を添えて、館長に提出しなければならない。

（使用料の減免）

第五条 条例第六条第三項の規定により使用料を減免することができる場合及びその割合は、次のとおりとする。

- 一 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の児童又は生徒の引率者が教育課程に基づく教育活動として入場するとき。使用料の全額
 - 二 生活保護法（昭和二十五年法律第百四十四号）に基づく生活扶助又は教育扶助を受けている者で県内に居住するものが入場するとき。使用料の全額
 - 三 その他館長が特別の理由により必要と認めたとき。入場料又は施設使用料のうち館長が相当と認める額
- 2 前項の規定により入場料の減免を受けようとする者の取扱いについては、館長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和六十一年十月二十五日から施行する。

附 則（平成元年三月三十一日規則第二十五号）

この規則は、平成元年四月一日から施行する。

附 則（平成七年三月二十八日規則第三十三号）

この規則は、平成七年四月一日から施行する。

附 則（平成十一年三月三十一日規則第三十五号）

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 この規則による改正前のそれぞれの規則の規定に基づき作成した用紙は、なお当分の間、所要の調整をして使用することができる。

附 則（平成十八年六月三十日規則第四十一号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成十九年三月三十日規則第二十二号）

この規則は、平成十九年四月一日から施行する。

附 則（平成二十八年三月二十五日規則第九号）

この規則は、平成二十八年四月一日から施行する。

附 則（令和四年三月十八日規則第九号）

この規則は、令和四年四月一日から施行する。

※別記様式は省略

3. 石川県立歴史博物館管理規則（平成八年四月一日 規則第二十七号）

（趣旨）

第一条 この規則は、石川県立歴史博物館条例（昭和六十一年石川県条例第二十六号）第十一条の規定により、石川県立歴史博物館（以下「歴史博物館」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第二条 歴史博物館の開館時間は、午前九時から午後五時までとする。ただし、展示室への入室は、午後四時三十分までとする。

(休館日)

第三条 歴史博物館の休館日は、次のとおりとする。

- 一 一月一日から同月三日まで及び十二月二十九日から同月三十一日まで
- 二 資料の展示替え又は整理の期間

(開館時間の変更等)

第四条 前二条の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、臨時に開館時間を変更し、又は休館することができる。

2 前項の規定により開館時間を変更し、又は休館する場合は、その旨を歴史博物館の入口その他見やすい場所に掲示するものとする。

(入館の制限)

第五条 石川県立歴史博物館長（以下「館長」という。）は、次の各号の一に該当する者に対しては、歴史博物館への入館を拒否することができる。

- 一 他の入館者に迷惑を及ぼすおそれがある者
- 二 他の入館者に危害を加え、又は歴史博物館の設備、器具若しくは展示品を損傷するおそれがある物品又は動物を携帯する者
- 三 前二号に掲げる者のほか、歴史博物館の管理上支障があると認められる行為をするおそれがある者

(入館者の遵守事項等)

第六条 歴史博物館の入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- 一 展示品に触れないこと（特に指定した展示品を除く。）。
- 二 展示品の近くでインキ、墨汁等を使用しないこと。
- 三 館長の許可を受けないで、展示品の撮影、模写等をしないこと。
- 四 館長の指定する場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
- 五 寄附金の募集、物品の販売、広告物の配布、立看板の掲示その他これらに類する行為をしないこと。
- 六 他の入館者に危害を加え、又は迷惑となる行為をしないこと。
- 七 前各号に掲げるもののほか、館長の指示した事項

2 館長は、入館者が前項の規定に違反したときは、その者に退去を命じ、又は必要な措置をとることができる。

(特別利用の許可等)

第七条 歴史博物館が所蔵する資料（以下「所蔵品」という。）の閲覧、模写、模造、撮影又は写真原板使用等（以下これを「特別利用」という。）をしようとする者は、別記様式第一号による申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項の場合において、所蔵品でないもの又は他に著作権があるものについては、それぞれ当該所有者又は著作権者の同意を得た書面を添付しなければならない。

3 館長は、第一項の許可に歴史博物館の管理上必要な条件を付することができる。

4 館長は、第一項の許可を受けた者が前項の規定により付された許可の条件に違反した場合には、当該許可を取り消し、又は当該許可に係る特別利用を停止させることができる。

(施設の使用許可)

第八条 歴史博物館の施設（特別展示室、企画展示室及びギャラリーに限る。）を使用しようとする者は、使用しようとする日の一年前から一月前までに別記様式第二号による申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。ただし、館長が特別の事情があると認めたときは、この期間によらないことができる。

2 前項の許可は、館長が歴史博物館の事業活動に支障がないと認める場合にするものとする。

3 前条第三項の規定は、第一項の許可に準用する。

(施設使用の制限)

第九条 館長は、前条第一項本文の規定による申請が次のいずれかに該当する場合には、同項の許可をしないことができ

る。

- 一 館内の秩序又は風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- 二 営利のみを目的とするおそれがあると認められるとき。
- 三 前二号に掲げるもののほか、歴史博物館の管理上支障があると認められるとき。

(施設使用の変更)

第十条 第八条第一項の許可を受けた者（以下「使用者」という。）が当該許可に係る事項の変更をしようとするときは、別記様式第三号による申請書に同項の許可に係る許可書を添えて館長に提出し、その許可を受けなければならない。

(使用者の使用取消し)

第十一条 使用者が施設の使用を取り消すときは、別記様式第四号による届出書に第八条第一項の許可に係る許可書を添えて、速やかに、館長に提出しなければならない。この場合において、前条の規定による変更の許可を受けていた場合は、当該変更に係る許可書を添えてしなければならない。

(使用権の譲渡等の禁止)

第十二条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(施設の変更の禁止)

第十三条 使用者は、施設に変更を加え、又は特別の設備を設けてはならない。ただし、あらかじめ、館長の承認を受けたときは、この限りでない。

(使用者の遵守事項)

第十四条 使用者は、前二条に規定するもののほか、次に掲げる事項を守らなければならない。

- 一 許可を受けた目的外に使用しないこと。
- 二 使用許可を受けた施設（以下「使用許可施設」という。）以外の施設に立ち入らないこと。
- 三 館長の許可を受けずに寄附金の募集、物品の販売、広告物の配布、立看板の掲示その他これらに類する行為をしないこと（第三者をして行わせる場合を含む。）。
- 四 第五条各号のいずれかに該当する者に対しては、使用許可施設への入場を拒否すること。
- 五 使用許可施設の入場者に第六条第一項各号に掲げる事項を守らせ、及び当該事項を守らない者があるときは、その者を退場させ、又は必要な措置を講ずること。
- 六 火災、盗難、人身事故その他の事故防止に努めること。
- 七 前各号に掲げるもののほか、館長の指示した事項

(施設使用許可の取消し)

第十五条 使用者が次のいずれかに該当する場合には、館長は、第八条第一項の許可を取り消すことができる。

- 一 虚偽の申請により許可を受けたことが判明したとき。
- 二 第八条第三項において準用する第七条第三項の規定により付された許可の条件に違反したとき。
- 三 第九条各号のいずれかに該当すると認められたとき。
- 四 第十条から前条までの規定に違反したとき。

(館長の指示等)

第十六条 館長は、歴史博物館の秩序の維持及び施設の管理上必要があると認めるときは、使用者に対し、施設の使用に関して指示をし、又は職員を使用中の施設に立ち入らせその使用状況を調査させることができる。

(原状回復)

第十七条 使用者は、施設の使用を終了したときは、その使用に係る施設を直ちに原状に回復し、館長に届け出てその点検を受けなければならない。第十五条の規定により使用の許可を取り消されたときも同様とする。

(施設使用終了の報告)

第十八条 使用者は、施設の使用を終了したときは、速やかに、別記様式第五号による報告書を館長に提出しなければならない。

(損害賠償)

第十九条 館長は、歴史博物館の施設、設備、展示品等を故意又は過失によりき損又は滅失した者に対して、その損害を賠償させることができる。

(所蔵品の貸出し)

第二十条 館長は、所蔵品を他の博物館又はこれに準ずるものに貸し出すことができる。公益事業の用に供するときも同様とする。

2 館長は、前項の規定により所蔵品の貸出しを行う場合において、当該所蔵品が文化財保護法（昭和二十五年法律第二百十四号）又は石川県文化財保護条例（昭和三十二年石川県条例第四十一号）の規定による指定を受けた文化財であるときは、教育委員会教育長の承認を受けなければならない。

(資料の受託)

第二十一条 館長は、資料の保管の委託を受けるときは、知事の承認を受けなければならない。

(雑則)

第二十二条 この規則に定めるもののほか、歴史博物館の管理運営について必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成十八年六月三十日規則第四十三号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成二十七年三月三十一日規則第十六号）

この規則は、平成二十七年四月十七日から施行する。

附 則（令和三年三月三十一日規則第十七号抄）

(施行期日)

1 この規則は、令和三年四月一日から施行する。

(経過措置)

3 改正前のそれぞれの規則の規定に基づいて作成した用紙は、なお当分の間、所要の調整をして使用することができる。

附 則（令和四年三月十八日規則第九号）

この規則は、令和四年四月一日から施行する。

※別記様式は省略

令和4(2022)年

- 4月26日 休館(～4月27日まで)
- 4月28日 春季特別展「大加州刀展」開催(～6月26日まで)
- 5月14日 春季特別展 展示解説
- 5月15日 春季特別展関連イベント「正伝 長尾流躰術演武」
- 5月18日 古文書講座前期「江戸時代の恋路村に住んでみる？」①
- 5月21日 れきはくゼミナール①(中止)
- 6月5日 ミュージアムコンサート「OEK presents ヴァイオリン二重奏」
- 6月8日 古文書講座前期「江戸時代の恋路村に住んでみる？」②
- 6月11日 春季特別展 展示解説
- 6月12日 春季特別展関連イベント「おっきいこんのすけ1日館長就任記念撮影会」
- 6月16日 れきはくメイト 初夏の歴史散歩「加州刀工ゆかりの地、鍛冶町周辺を歩く」
- 6月18日 れきはくゼミナール②「中世霊場の一形態 輪島市・岩倉寺を中心に」
- 6月27日 休館(～6月28日まで)
- 7月13日 古文書講座前期「江戸時代の恋路村に住んでみる？」③
- 7月16日 れきはくゼミナール③「香林坊150年史 大神宮・盛り場・間市」
- 7月20日 レトロ建築見学会 ボランティアガイダンス
- 7月21日 休館(～7月22日まで)
- 7月23日 夏季特別展「工芸教育の精華 納富次郎とデザインの思想」開催(～8月28日まで)
- 7月23日 夜間開館(～8月13日までの毎週金・土は20時まで開館)
- 7月23日 夏季特別展 ナイトギャラリートーク①
- 7月29日 夏季特別展 ナイトギャラリートーク②
- 7月30日 ワークショップ「加賀友禅のハンカチをつくってみよう」
- 7月31日 石川の歴史遺産セミナー①「輪島における工芸指導と産地の発展」
- 8月5日 ナイトミュージアムコンサート「フルートとチェロのしらべ」
- 8月6日 ワークショップ「藍染ハンカチに加賀刺繍をしてみよう」
- 8月7日 石川の歴史遺産セミナー②「板谷波山とアールヌーヴォー、実験場としての石川県立工業学校」
- 8月10日 古文書講座前期「江戸時代の恋路村に住んでみる？」④
- 8月20日 れきはくゼミナール④「納富次郎とデザインの思想」
- 8月29日 休館(～8月30日まで)
- 9月17日 れきはくゼミナール⑤「越と出雲の古代史」
- 9月20日 休館(～9月22日まで)
- 9月23日 秋季特別展「アトウィー海と奏でるアイヌ文化」(～11月13日まで)
- 9月23日 秋季特別展 展示解説
- 9月24日 ワークショップ「アザラシじょうずに獲れるかな？」①
- 10月1日 アイヌ伝統舞踊公演「白糠のフンペリムセ」
- 10月2日 秋季特別展 記念講演会「アイヌ文化がつかなく世界一過去・現在・未来」
- 10月6日 古文書講座中期「能登天領のくらし」①
- 10月10日 ワークショップ「アザラシじょうずに獲れるかな？」②
- 10月15日 れきはくゼミナール⑥「北陸とアイヌの文化交渉」
- 10月23日 講演会「二ノ丸御殿と能舞台」
- 10月26日 れきはくメイト 秋の歴史散歩「武士のまち長町・長土堀・玉川町を歩く」
- 10月29日 工芸ワークショップ「アイヌ刺繍でオリジナルTシャツづくり」
- 10月29日 ワークショップ「アザラシじょうずに獲れるかな？」③
- 11月3日 秋季特別展 展示解説
- 11月4日 いしかわ歴史講座①「縄文ムラ・水辺のなりわい」
- 11月10日 古文書講座中期「能登天領のくらし」②
- 11月11日 いしかわ歴史講座②「渤海氏と古代の加賀・能登」
- 11月12日 秋季特別展関連イベント「トウレツポんがやってきた！」①
- 11月12日 秋季特別展 展示解説
- 11月12日 風と緑の楽都音楽祭2022秋の陣「オルガンとチェロが奏でる秋のしらべ」
- 11月12日 秋季特別展関連イベント「トウレツポんがやってきた！」②
- 11月13日 石川の歴史遺産セミナー「はじめてふれるアイヌ文化」
- 11月14日 休館(～11月15日まで)
- 11月18日 いしかわ歴史講座③「中世のいしかわの信仰世界」
- 11月19日 れきはくゼミナール⑦「再興九谷にみる19世紀の産業振興」
- 11月25日 いしかわ歴史講座④「改正法下の武士と農村」
- 12月9日 休館
- 12月10日 企画展「れきはくコレクション2021-2022」開催(～1月9日まで)
- 12月11日 ミュージアムコンサート「フルートとヴィオラのしらべ」
- 12月15日 古文書講座中期「能登天領のくらし」③
- 12月16日 いしかわ歴史講座⑤「金沢城の絵師たち」
- 12月17日 れきはくゼミナール⑧「北陸にもたらされた「蝦夷錦」
- 12月21日 れきはくコレクション 展示解説
- 12月23日 いしかわ歴史講座⑥「加賀藩における学問と教育」
- 12月28日 休館(～1月3日まで)／消防訓練



春季特別展関連イベント
「正伝 長尾流躰術演武」



春季特別展関連イベント
「おっきいこんのすけ1日館長就任記念撮影会」



夏季特別展関連ワークショップ
「藍染ハンカチに加賀刺繍をしてみよう」



れきはくメイト 秋の歴史散歩



秋季特別展関連イベント
「白糠のフンペリムセ」



秋季特別展関連イベント
「トウレツポんがやってきた！」

令和5(2023)年

- 1月6日 いしかわ歴史講座⑦「北前船と加賀・能登」
- 1月10日 休館
- 1月13日 いしかわ歴史講座⑧「明治維新と武士の近代」
- 1月20日 いしかわ歴史講座⑨「石川の近代工芸」
- 1月21日 れきはくゼミナール⑨「加賀藩主 前田治脩」
- 1月25日 連載30周年記念「地上最強 バキ展ッ! In 金沢」開催(～3月7日まで)
- 1月25日 “刃牙展”トークショー&サイン会
- 1月27日 いしかわ歴史講座⑩「曳山・燈籠・獅子舞ーいしかわの祭礼風流ー」
- 1月28日 館長講演会「徳川家康と関ヶ原の戦い」
- 2月3日 いしかわ歴史講座⑪「神々をもてなすー石川の神饌文化と来訪神行事ー」
- 2月8日 古文書講座後期①「祐筆役・清水家のくらしー武士の日記・家計簿ー」
- 2月18日 れきはくゼミナール⑩「加賀藩の藩校とその教育」
- 2月22日 古文書講座後期②「祐筆役・清水家のくらしー武士の日記・家計簿ー」
- 3月18日 れきはくゼミナール⑪「鈴木華邨と北陸ー旧蔵資料の収集を契機にー」
- 3月20日 レトロ建築見学会 ボランティア研修
- 3月28日 休館(～3月29日まで)



館長講演会
「徳川家康と関ヶ原の戦い」

VI. 各種書式

副館長	学芸主幹	総務課長	普及課長	受付

入 館 申 込 書

受 付
(Web申込) 年 月 日

フリガナ 団体名称			校種		
郵便番号 所在地	—				
電話番号	—	—	フリガナ 引率代表者 氏名	先生(様)	
来館日時	年	月	日	曜日	
	時	分	～	時	
入館者内訳	一般	名	料 金	一般	有料・無料
	(内、65歳以上	名)		65歳以上	有料・無料
	短・大・各種学生	名		短・大・各種学生	有料・無料
	高校生	名		その他	有料・無料
	小・中学生	名		()	
	学年・クラス数	年 クラス		引率	有料・無料
入館方法			グループ数	グループ	
バス来館	台				
雨天時対応 予備日	年	月	日	曜日	
	時	分	～	時	
体験ひろば 利用					
ワークショップ ルーム使用					
備 考					

当日記入欄	代表者名	入場者数	計	名
-------	------	------	---	---

石川県立歴史博物館特別利用許可申請書

年 月 日

石川県立歴史博物館長 様

住 所

(所在地)

申請者 氏 名

(名称及び代表者の氏名)

電話番号

特別利用の許可を受けたいので、次のとおり申請します。

記

特 別 利 用 資 料 名	
利用日時	年 月 日 時 ～ 時
利用内容	
利用目的	
備 考	

備考 資料の所有権又は著作権が当館の他にあるものについては、それぞれ当該所有権者又は著作権者の許可書を添付すること。

石川県立歴史博物館 年報
第25号 令和4年度版
令和6年3月31日発行

発行 石川県立歴史博物館
〒920-0963
石川県金沢市出羽町3番1号
TEL (076)262-3236